

# CHleru

---

## CaLabo EX v9.0 簡易マニュアル

チエル 株式会社

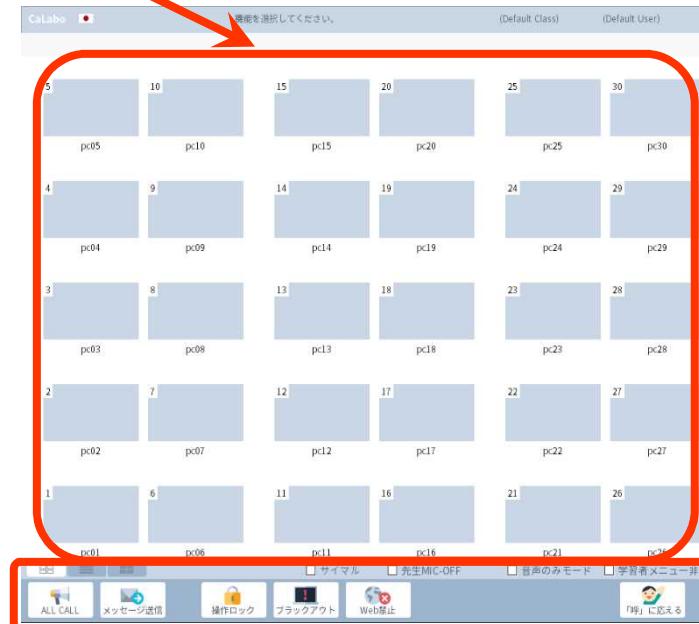
2020年8月

# 目次

操作画面	3	チャット	26	- インフォメーションギャップ	49
起動と終了	4	アイコン表示とサムネイル表示	27	- 会話時のチャット	50
機能ボタンの配置	5	アナライザー概要	28	ムービーテレコの概要	51
操作手順の基本	6	- アナライザーを起動する	29	- ムービーテレコの起動と終了	52
座席アイコンの拡大表示	7	- アナライザーの問題種類と設定	30	- TeachingモードとSelf Learningモード	53
学習者PCの電源管理	8	- アナライザーを実行する	31	- ムービーテレコの起動と終了	54
座席アイコンへ学習者名を表示	9	評価シート概要	32	- ムービーテレコのサーバに教材を登録する	55
出席結果の出力	10	- 評価シートフォームを作成・保存する	33	- YouTube・TEDの動画を登録する	56
出席結果の集計	11	- 評価シートで評価を実行する	34	- 「レッスンファイル」フォルダの利用	57
メッセージ送信	12	- 評価シートの結果ファイル	35	- AV機器の映像・音声を取り込む	58
操作ロック／ブラックアウト／Web禁止	13	小テスト概要	36	- Teachingモードで教材を見せる・聞かせる	59
指定のWebサイトを一斉に表示する	14	- 小テスト作成ツール起動・作成	37	- Teachingモードでシャドーイング／同時通訳	60
課題（Wordなど）を配布する	15	- CSVファイルから小テストをインポート	38	- Teachingモードでリピーティング／逐次通訳	61
課題（Wordなど）を回収する	16	- 小テストを開始する	39	- Teachingモードで読み上げ音声を録音	62
課題（Wordなど）を提出させる	17	- 小テストの結果表示	40	- 録音音声の回収・保存	63
先生の画面を見せる（聞かせる）	18	その他の機能（アプリ）	41	ムービーテレコ：Self-Learningモード	64
ヘッドセットで聞かせる	19	ヘッドセットで会話させる（会話）	42	ムービーテレコの使い方 （画面の説明）	65
1人ずつモニタリング	20	- グループから1人ずつランダムに選んで ペア会話をする	43	ムービーテレコの使い方	
順番にモニタリング（巡回モニタ）	21	- 会話のメンバーを自由に組み替える	44	（教材を聞く・録音する）	66
個別指導	22	- 会話の録音（1）：先生が録音・回収する	45	ムービーテレコの使い方	
（1対1の通話／先生による添削指導）	23	- 会話の録音（2）：学習者に録音・提出させる	46	（教材・録音した音声を保存する） 学習者メニュー	67
1人に発表させる (発表／全員の画面に映して添削指導)	24	- 会話のモニタ (モニタ解除／インカム／モデル)	47		68
音声のみモード	25	- 画面共有	48		

座席アイコン

【コントロール画面】



【先生画面】

機能ボタン

- ・画面は「デュアルモニタ」です。左が学習者PCを制御するための「コントロール画面」、右が先生作業用の「先生PC画面」です。マウスを左右に移動させると、2つの画面を操作できます。
- ・コントロール画面には、左側に教室のレイアウトに合わせた座席アイコン、右側と下部に機能ボタンが並んでいます。授業中は主にコントロール画面を操作します。

# 起動と終了

## 基本操作

### 起動

- デスクトップ上の「CaLabo EX」アイコンをダブルクリック

「授業準備」ダイアログが表示されます

授業形式に合わせて、選択してください。

単独教室:SIS\*(30台)

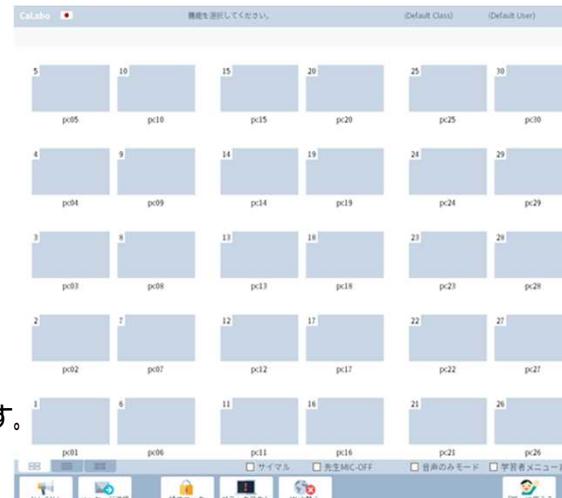
統合教室:SIS\*+SIS\*(60台)

SIS1、SIS3のみ、表示されます。

- ダイアログでクラスを選択、[授業開始]ボタンをクリック

CaLabo EX コントロール画面が表示されます

【コントロール画面】



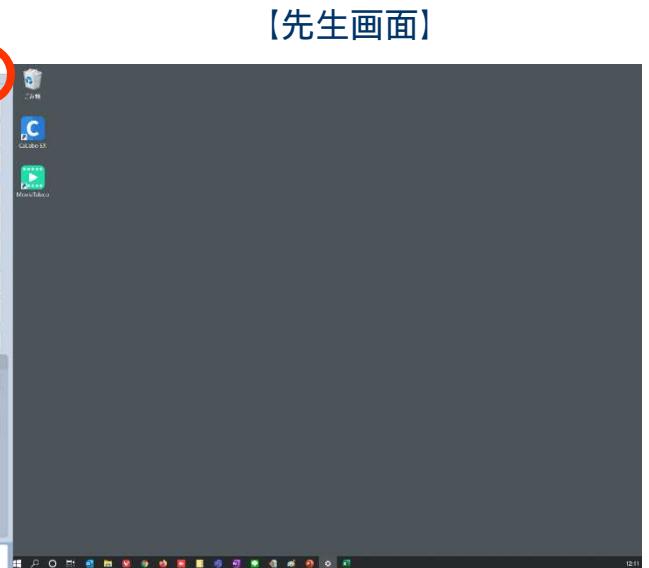
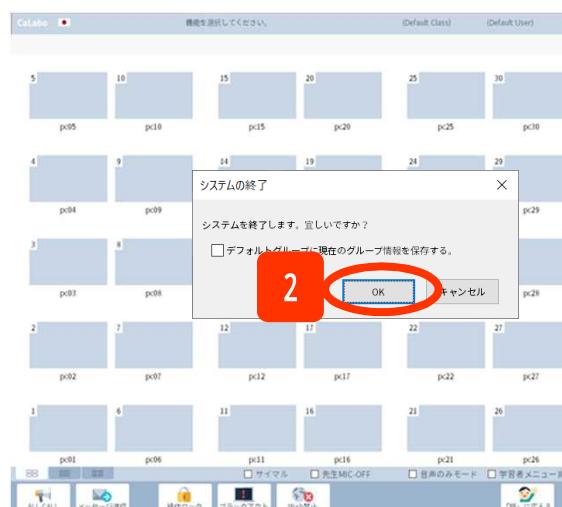
### 終了

- コントロール画面の[×]ボタンをクリック

- ダイアログで[OK]ボタンをクリック

コントロール画面が終了し  
通常のWindows画面にもどります

【コントロール画面】



# 機能ボタンの配置

基本操作

言語切り替え



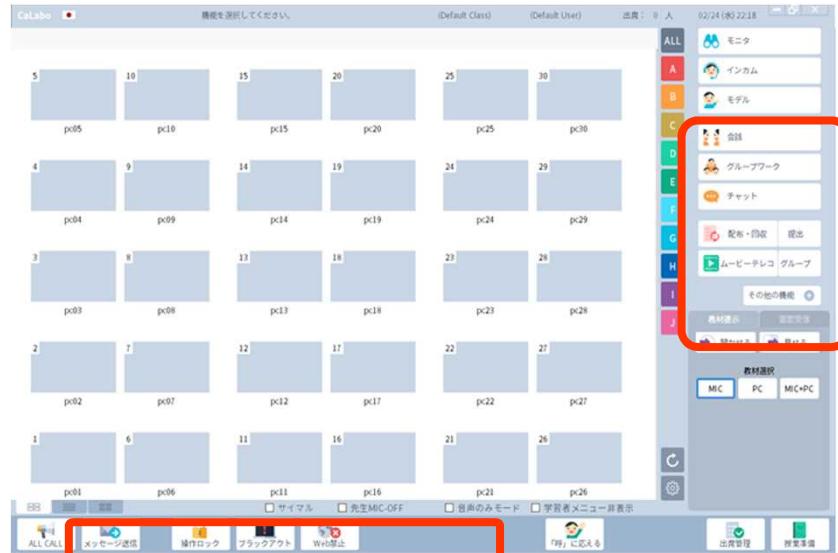
メッセージ

禁止

CHleru

# 操作手順の基本

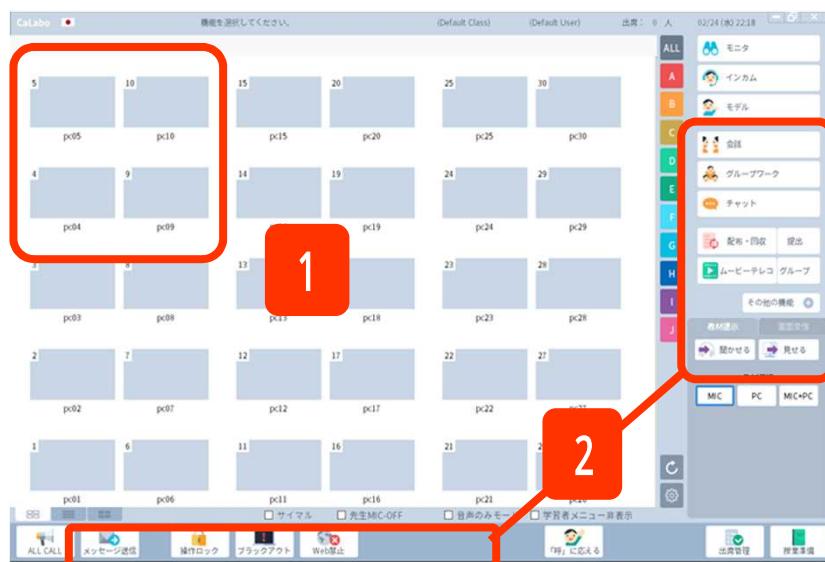
## 基本操作



### 参加者全員を対象とする

(座席アイコンを選択せずに) 機能ボタンをクリック

参加者全員を対象として機能を実行します。  
(対象者が1人の機能を除く)



### 参加者の一部を対象とする

1. 対象となる座席アイコンを選択
2. 機能ボタンをクリック

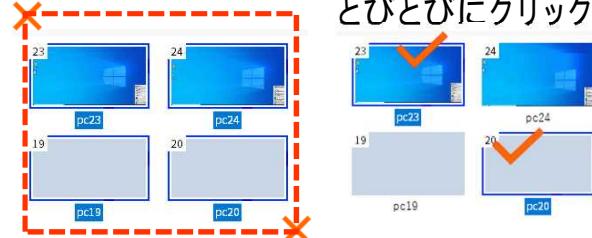
選択した学習者を対象として機能を実行します。

### 座席アイコンの選択

選択方法はWindowsと同じです。選択状態の座席アイコンには青い枠ができます。

座席の上でクリック

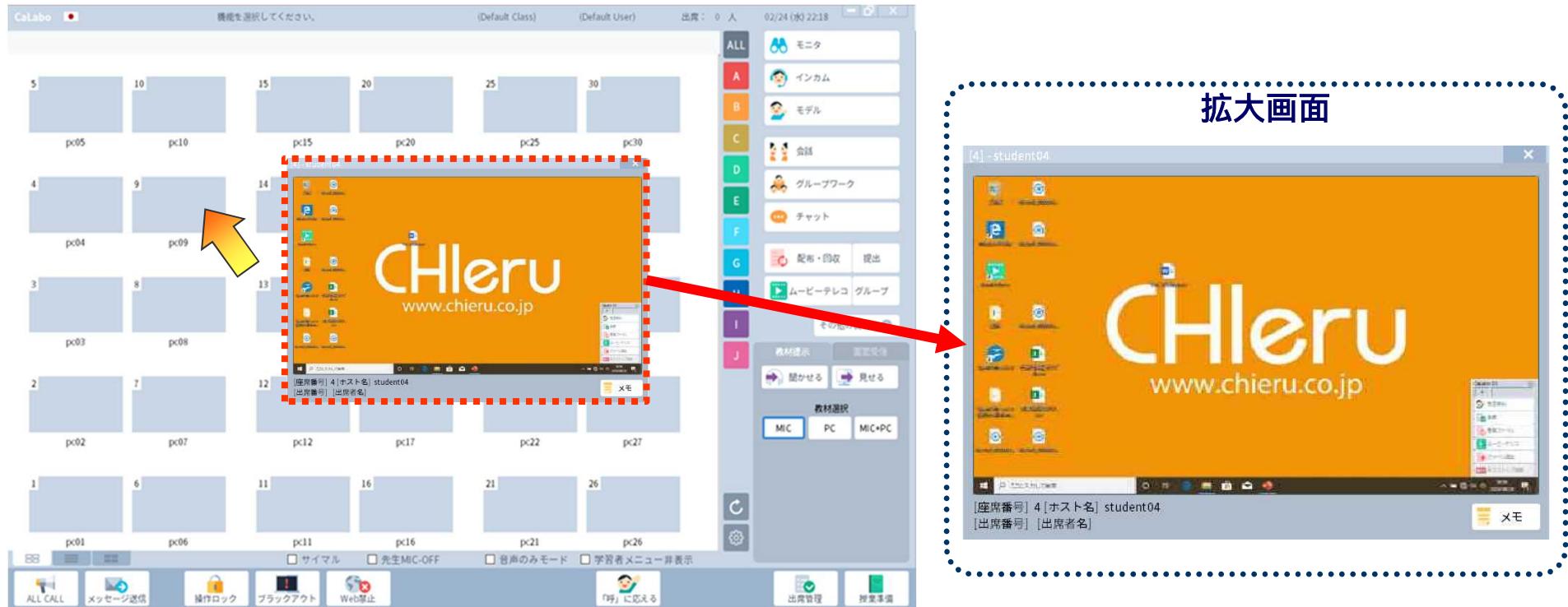
ドラッグして囲む [Ctrl]キーを押しながら  
とびとびにクリック



# 座席アイコンの拡大表示

## 基本操作

座席アイコン上にマウスポインターをのせると拡大表示されます。  
さらに、マウスホイールをスクロールすると拡大縮小表示します。

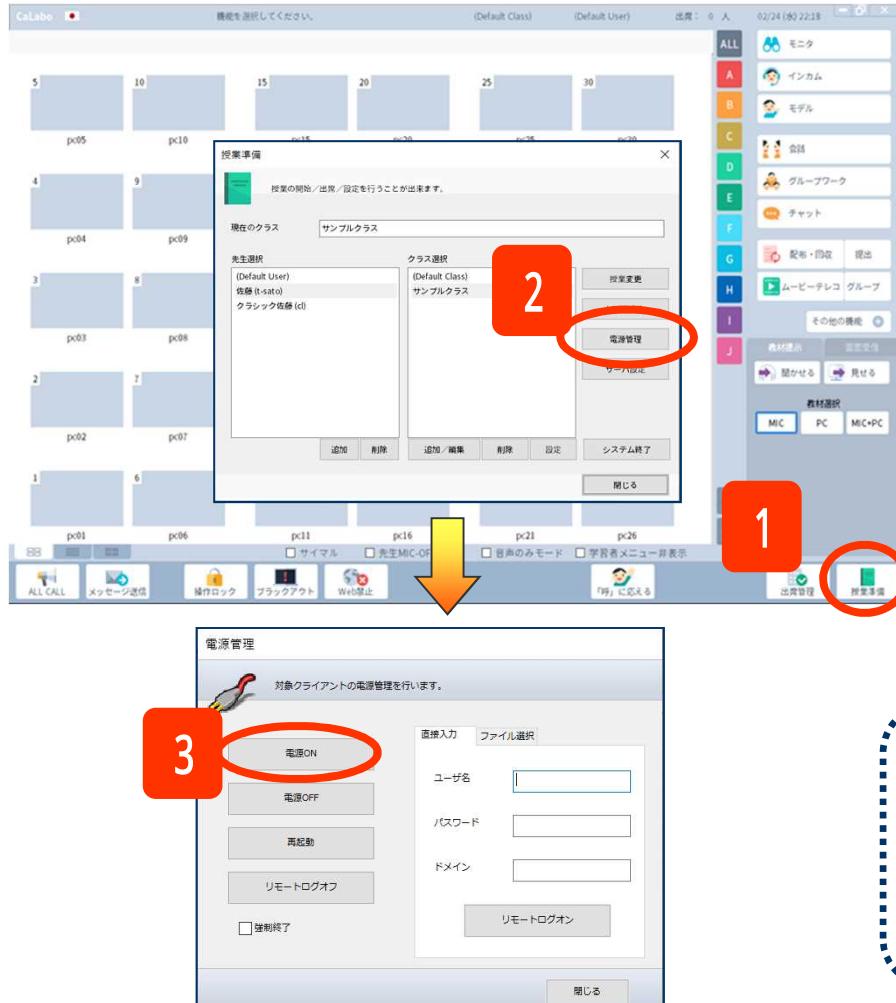


アイコン表示中、「アイコン表示」タブ→「表示メニュー」をクリック、「サムネイルをポップアップさせる」にチェックがはいっている場合、拡大表示が有効になります。チェックを外した場合、座席アイコンにマウスポインターをのせると「ホスト名」「番号」「学習者名」が表示されます。

# 学習者PCの電源管理

電源

CaLabo EX コントローラから 学習者PCの電源を一斉にONすることができます。  
他に、「一斉電源OFF」「再起動」「一斉ログオン／ログオフ」もできます。



## 1. [授業準備]ボタンをクリック

授業準備ダイアログが表示されます。

## 2. [電源管理]ボタンをクリック

電源管理ダイアログが表示されます。

## 3. [電源ON]ボタンをクリックします。

一部のPCを対象とする場合は、手順1. の前に、対象となる座席アイコンを選択しておきます。

同様の手順で、[電源OFF][再起動][ログオフ]ができます。

## 座席アイコンの表示

(グレー)



電源OFF状態

(水色)



ログオン前の状態

(学習者のデスクトップ)

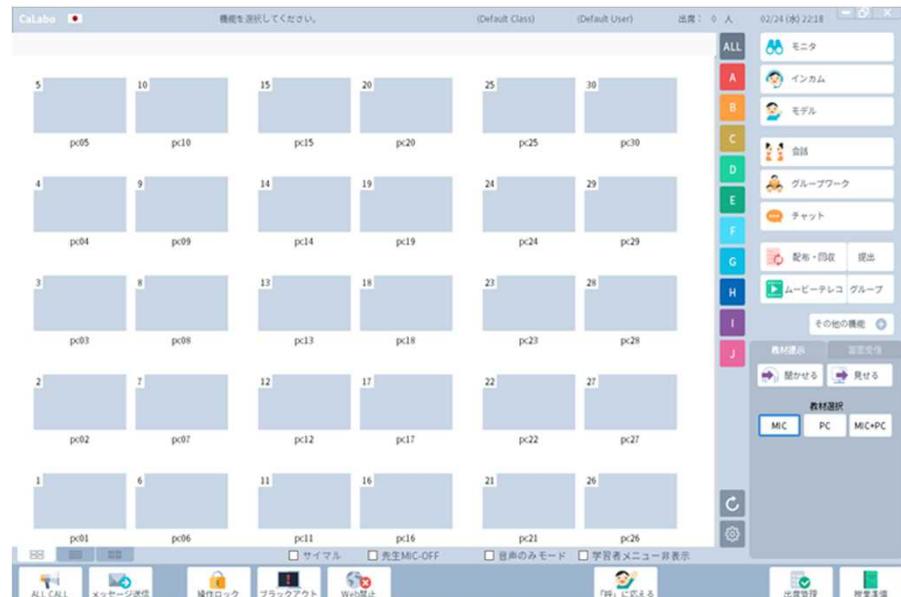


ログオン後の状態

# 座席アイコンへ学習者名を表示

出席

設定によっては学習者が Windows にサインインすると名前が表示されます。  
出席票で入力した名前を表示する設定の場合、学習者は自分で出席票を表示します。



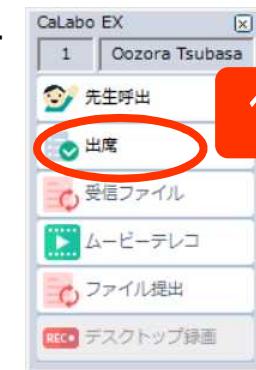
座席アイコンの下に学習者が入力した  
名前が表示されます。

先生は CaLabo EX コントロール画面を起動しておきます。  
学習者PC画面右下に「学習者メニュー」が表示されます。

## 学習者の操作

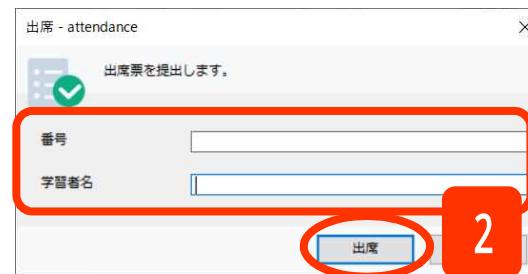
1. 学習者は、画面右下のメニューから [出席] ボタンをクリック

出席票が表示されます。



1

2. 名前を入力し、[出席] ボタンをクリック  
(必要であれば、番号も入力させます。)

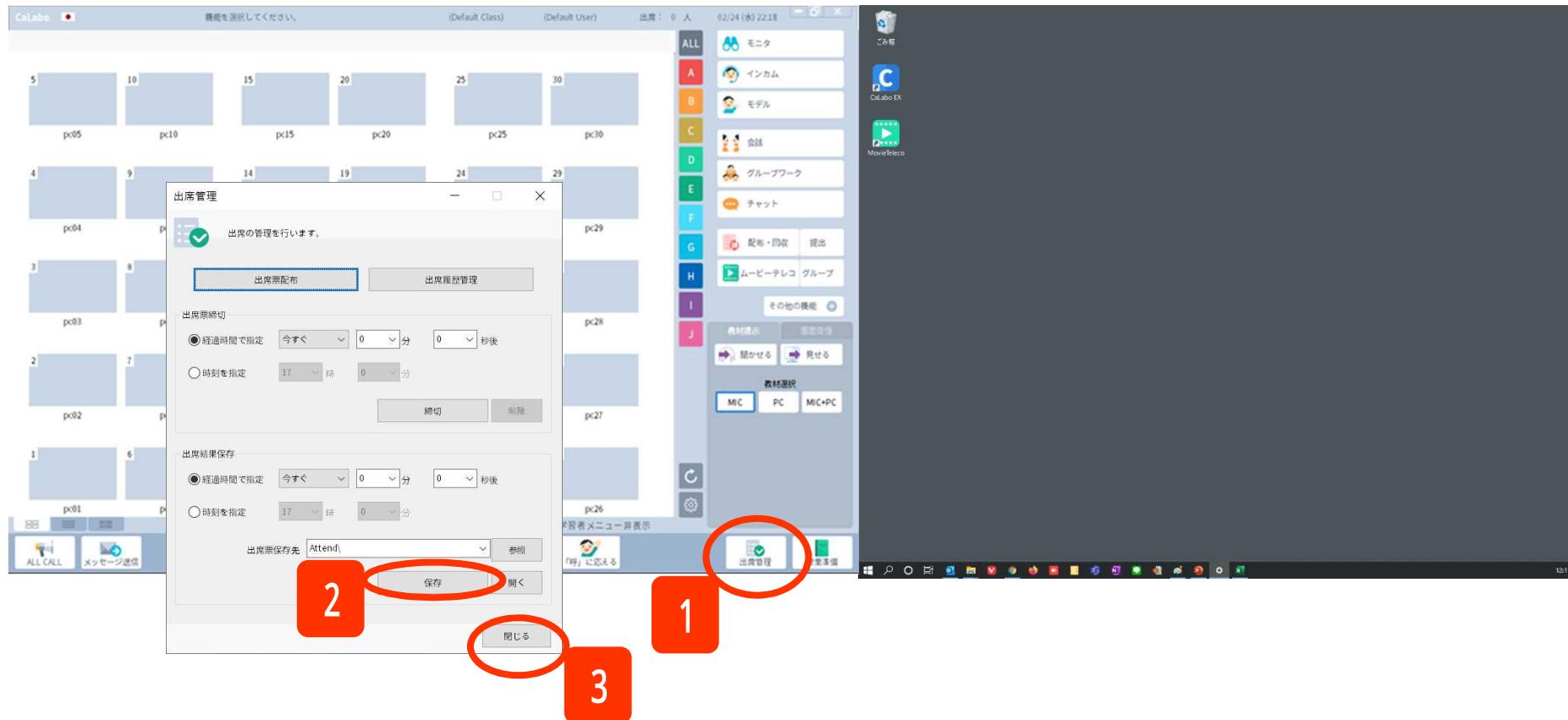


2

学習者メニューに名前が表示されます。

## 出席結果の出力

出席



1. 出席をとりたいタイミングで[出席管理]ボタンをクリック  
「出席管理」ダイアログが表示されます。
  2. [保存]ボタンをクリック  
決められたパスに、現在の日時のファイル名がついた出席結果ファイルが保存されます。
  3. 授業にもどる場合は[閉じる]ボタンをクリック  
タイマーを設定して時間経過で保存する方法もあります。

# 出席結果の集計

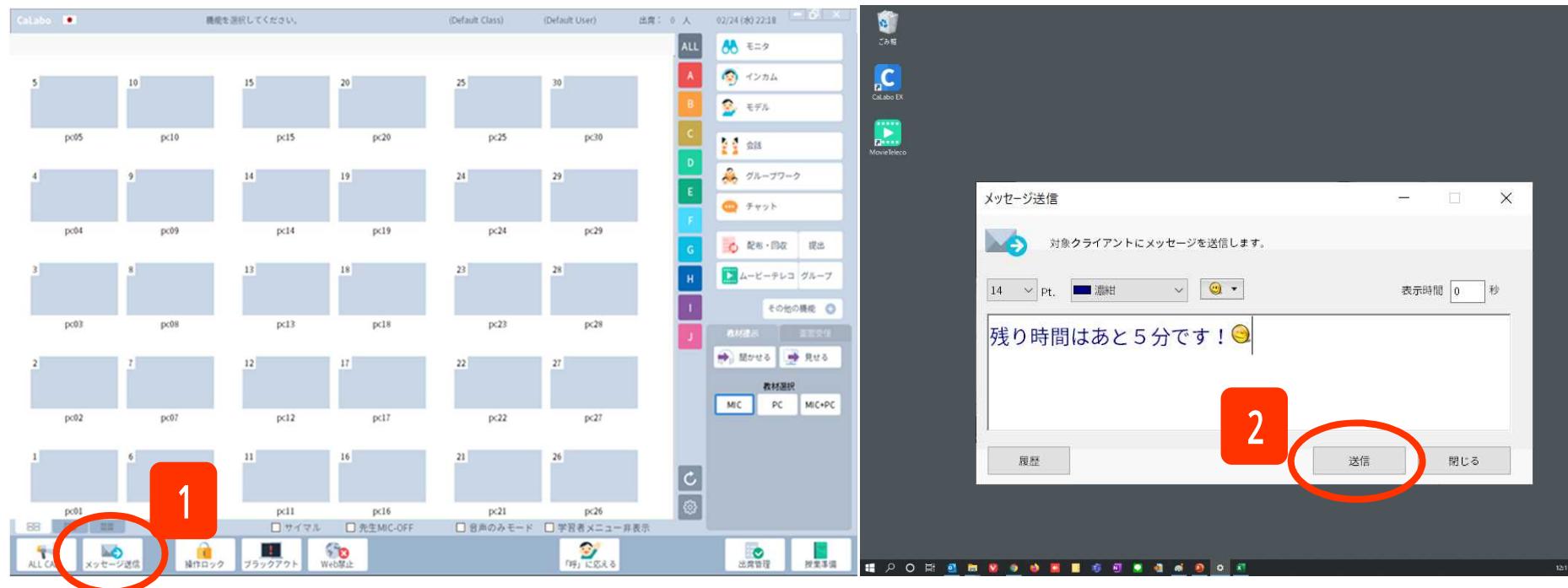
出席



1. コントロール画面の[出席管理]ボタンをクリック 「出席管理」ダイアログが表示されます。
2. [出席履歴管理]ボタンをクリック 出席履歴管理ツールが起動されます。
3. [設定]ボタンをクリックし、出席履歴ファイルが保存されているパスを指定
4. 対象となるクラスを選択
5. [集計開始]ボタンをクリック 出席簿が表示されます。

# メッセージ送信

文字伝達



1. [メッセージ送信] ボタンをクリック

メッセージ画面が表示されます。

2. メッセージ入力ボックスに文字を入力し、  
[送信] ボタンをクリック

学習者にメッセージが表示。

一部の学習者にメッセージを送る場合は[メッセージ送信]ボタン  
をクリックする前に、対象となる座席を選択しておきます。

フォントサイズ：メッセージのフォントサイズを変更します。

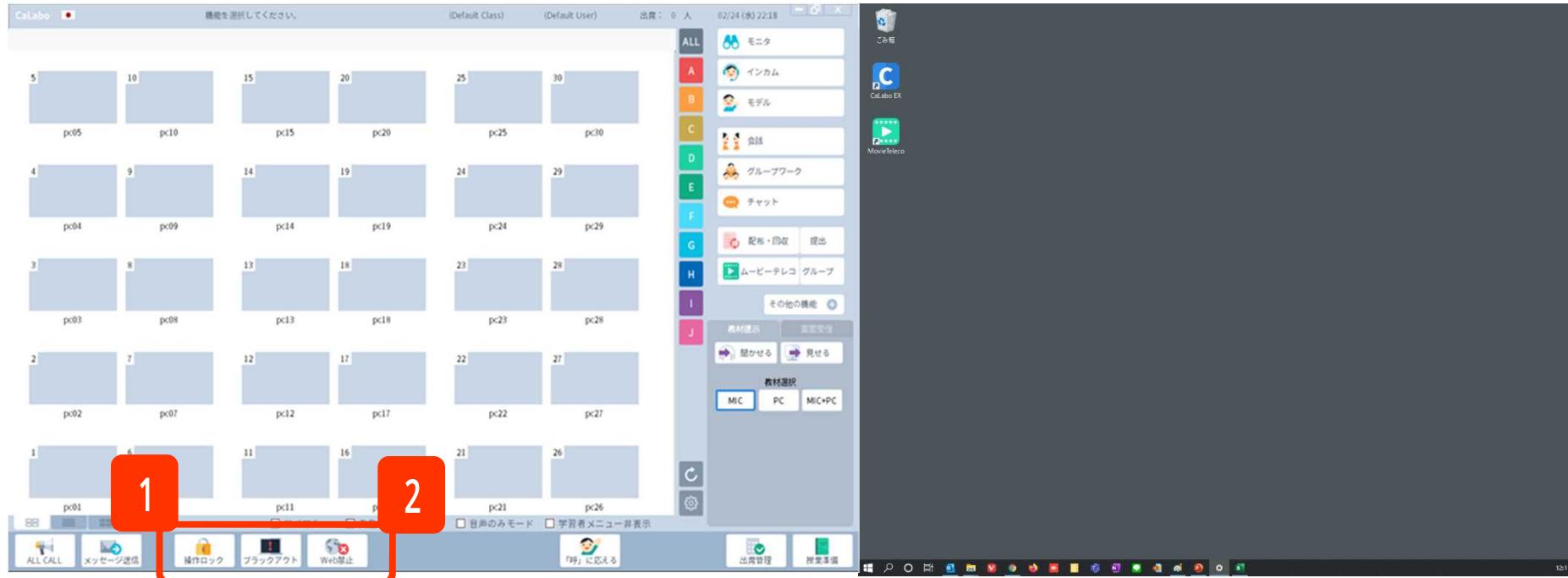
フォントカラー：メッセージの色を変更します。

エモーティコン(顔文字)：メッセージ中に顔文字を挿入します。

表示時間：学習者PCに表示されたメッセージを指定した  
時間で閉じます。(「0秒」を指定した場合、  
学習者が自分で閉じるまで表示されたままと  
なります。)

# 操作ロック / ブラックアウト / Web禁止

禁止



## 1. [操作ロック] ボタンをクリック

学習者のキーボード・マウスが操作できなくなります。

## [ブラックアウト] ボタンをクリック

学習者の画面が真っ黒になり、キーボード・マウスが操作できなくなります。

## [Web禁止] ボタンをクリック

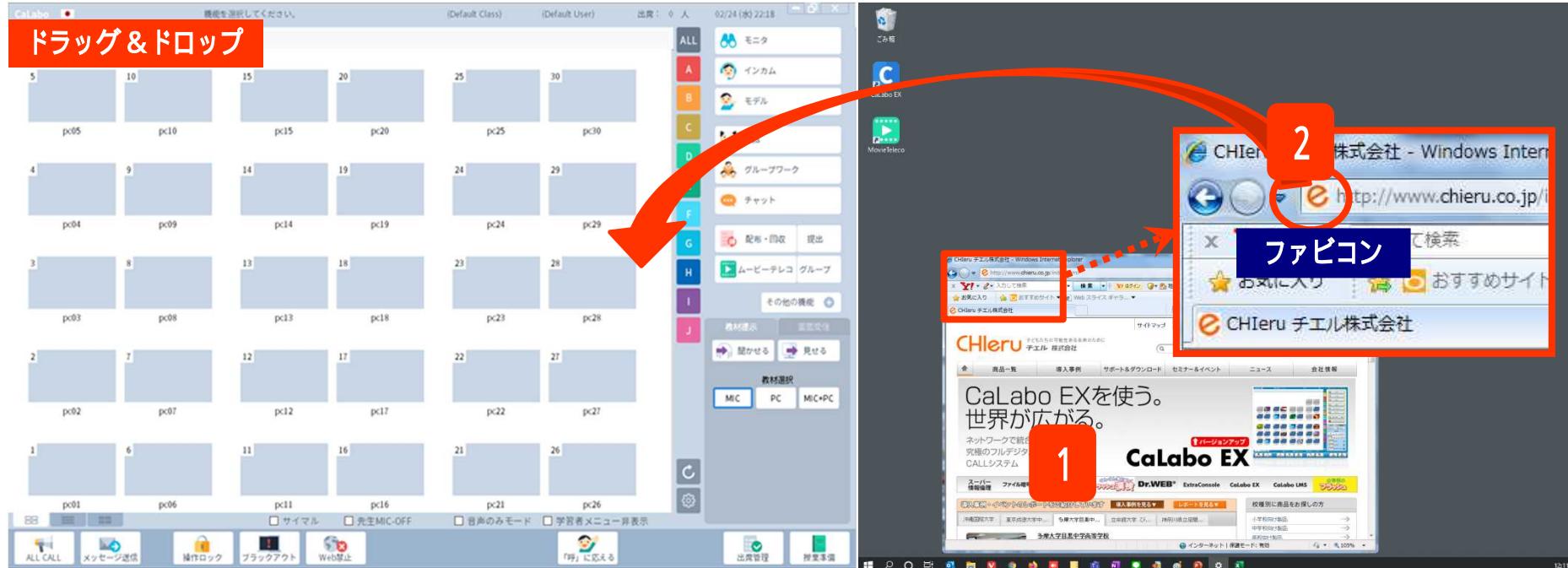
学習者側で開いていたWebサイトが閉じ、Webブラウザを起動できなくなります。

禁止するブラウザはシステムで設定できます。

## 2. 解除するには、クリックしたボタンを再度クリック

# 指定のWebサイトを一斉に表示する

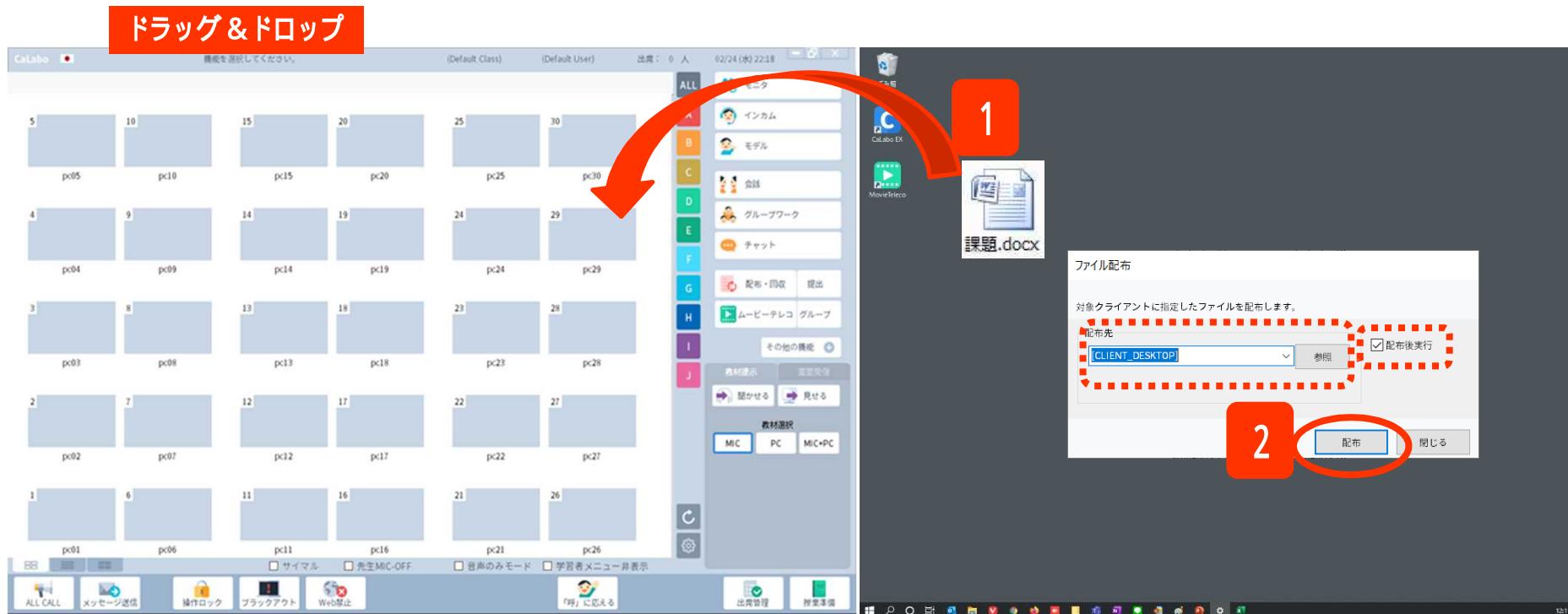
教材提示



1. 一斉起動するWebサイトを先生PCで表示
  2. Webサイトのファビコン(URL先頭にあるマーク)をクラスエリアにドラッグ&ドロップ
- 学習者PCに指定したWebサイトが表示されます。

# 課題(Wordなど)を配布する

配布・回収



1. 配布したいファイルをクラスエリアにドラッグ & ドロップ  
[ファイル配布]ダイアログが表示されます。
2. 配布先のフォルダを確認して [配布]ボタンをクリック  
学習者PCにファイルがコピーされます。

「配布後実行」にチェックを入れておくと、配布時に自動的にオーブンします。

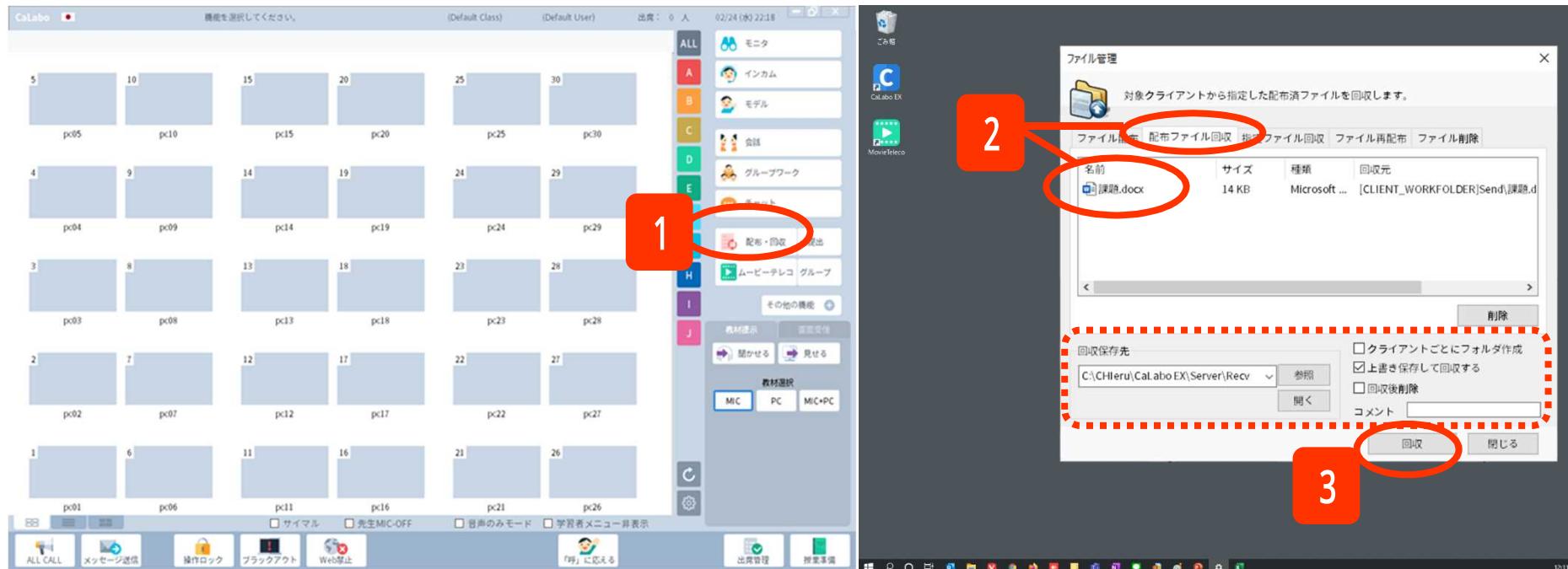
ファイルを選択する代わりに フォルダをドラッグ & ドロップすると、フォルダごと配布できます。

配布後に出席した学習者には、配布済みのファイルリストが表示され、自分で取得できます。(遅刻者対応)

# 課題(Wordなど)を回収する

配布・回収

配布したファイルに書き込ませて集めます。



1. [配布 / 回収] ボタンをクリック  
「ファイル管理」ダイアログが表示されます。
2. 「配布ファイル回収」タブをクリック、  
配布ファイル・フォルダの一覧から回収対象を選択
3. 回収先を確認し、[回収] ボタンをクリック  
指定したフォルダにファイル(またはフォルダ)が回収されます。

クライアントごとにフォルダ作成:

ファイル名を変更せずに回収したい場合、学習者  
ごとにフォルダを作成して回収します。

上書き保存して回収する:

回収時、強制的に上書き保存して回収します。

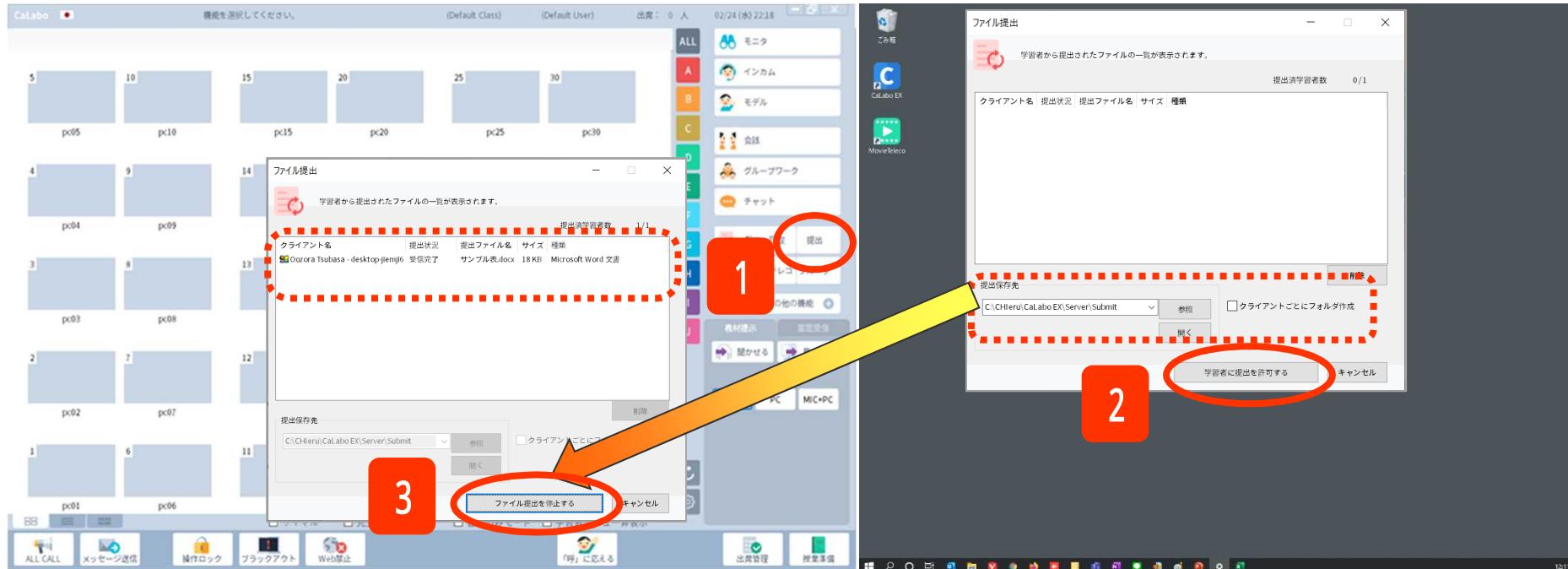
回収後削除 : 回収後、学習者側のファイルを削除します。

コメント : 再配布時、リストに表示されます。

# 課題(Wordなど)を提出させる

配布・回収

学習者が作成したファイルを集めます。

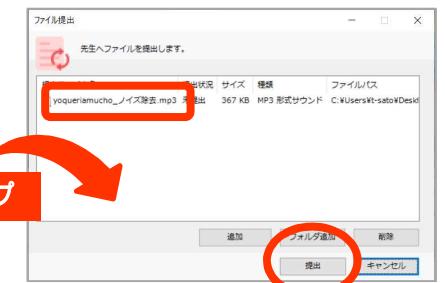


1. [提出] ボタンをクリック  
「ファイル提出」ダイアログが表示されます。
2. 提出されたファイルの保存先を確認、  
[学習者に提出を許可する] ボタンをクリック  
ボタンが[ファイル提出を停止する]に変わり、学習者がファイル提出  
するとリストに表示されます。
3. 終了するには、[ファイル提出を停止する] ボタンをクリック  
先生・学生の「ファイル提出」ダイアログが閉じられます。

## 学習者画面

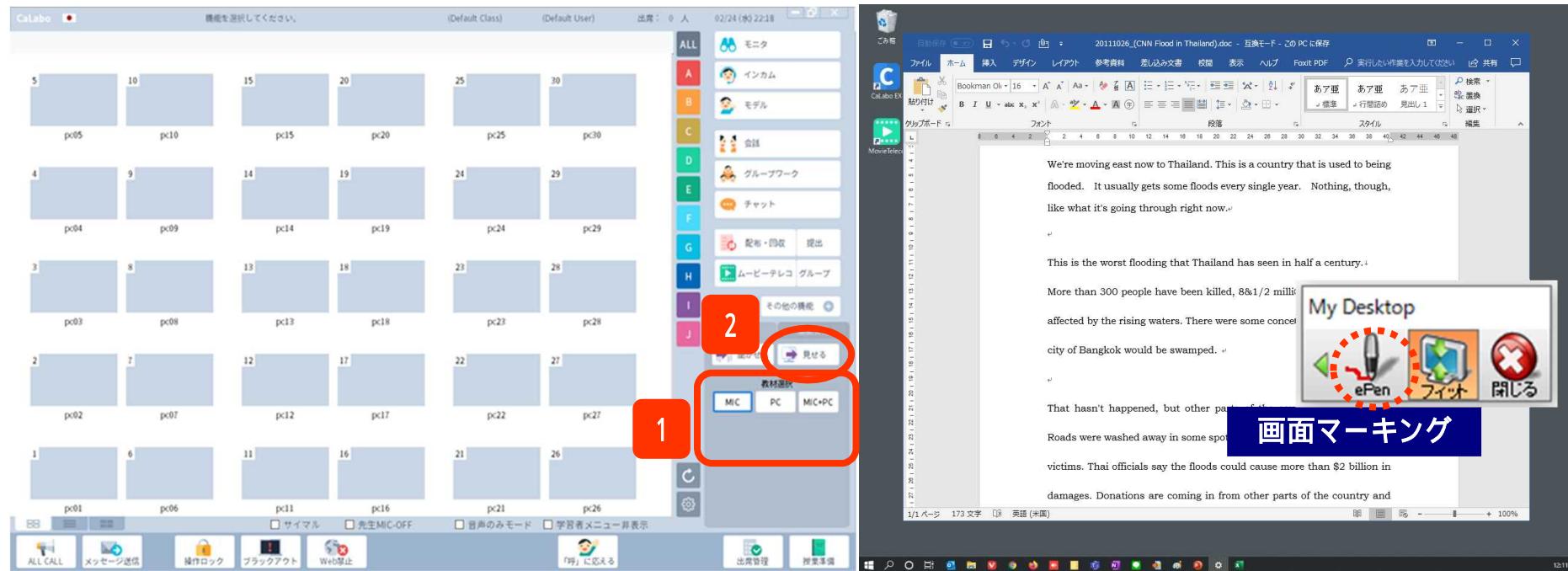
ファイル提出ダイアログ  
に提出したいファイルをド  
ラッグ & ドロップ、ファ  
イルを選択して[提出]ボタ  
ンをクリックします

ドラッグ & ドロップ

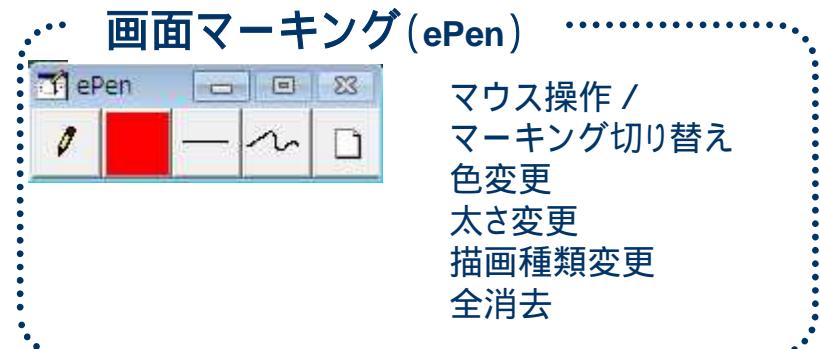


# 先生の画面を見せる(聞かせる)

教材提示

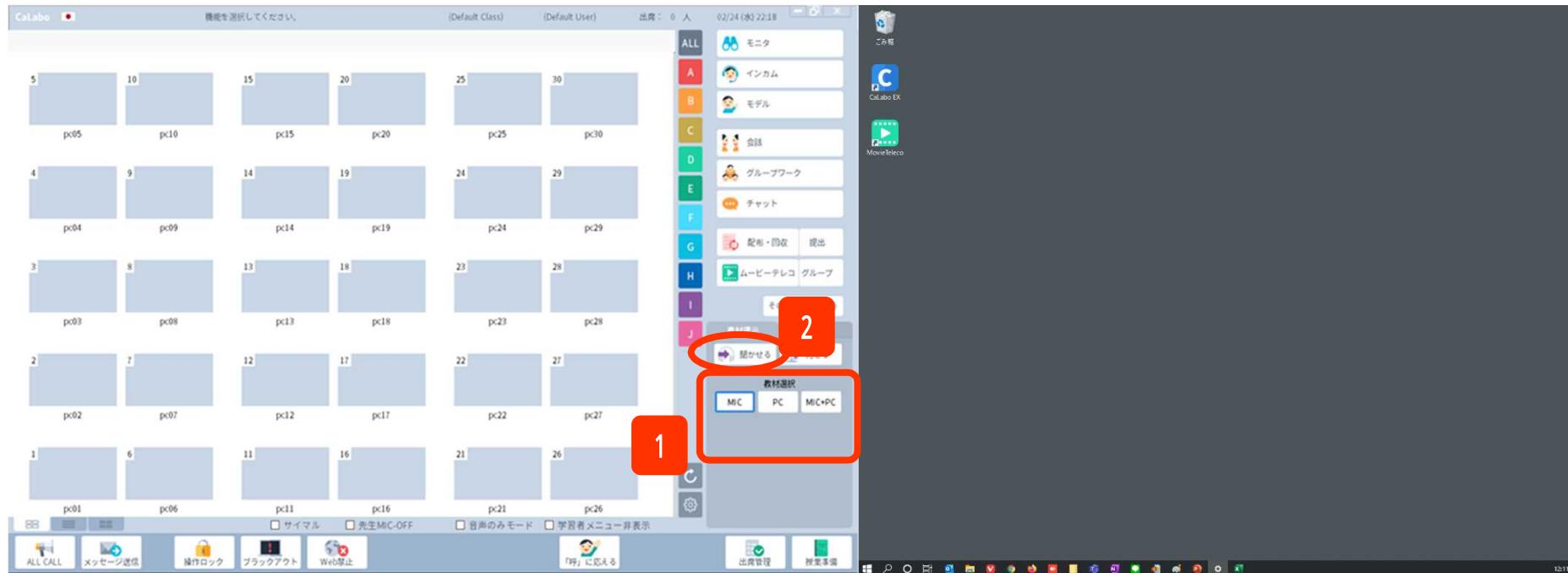


1. 「教材選択」パネルから、[MIC] [PC] [MIC+PC] のいずれかをクリック
2. [見せる]ボタンをクリック  
※同時に[聞かせる]ボタンがONになります  
  
学習者画面に先生画面が表示され、ヘッドセットには選択した入力ソースの音声が流れます  
  
※手順1で[DVD+CD]などAV機器を選択している場合には、  
その映像がフル画面で表示されます。  
(ムービーテレコが自動で起動され、フル画面表示になります。)



# ヘッドセットで聞かせる

教材提示



1. 「教材提示」パネルから、聞かせたい音声のボタンをクリック

2. [聞かせる]ボタンをクリック

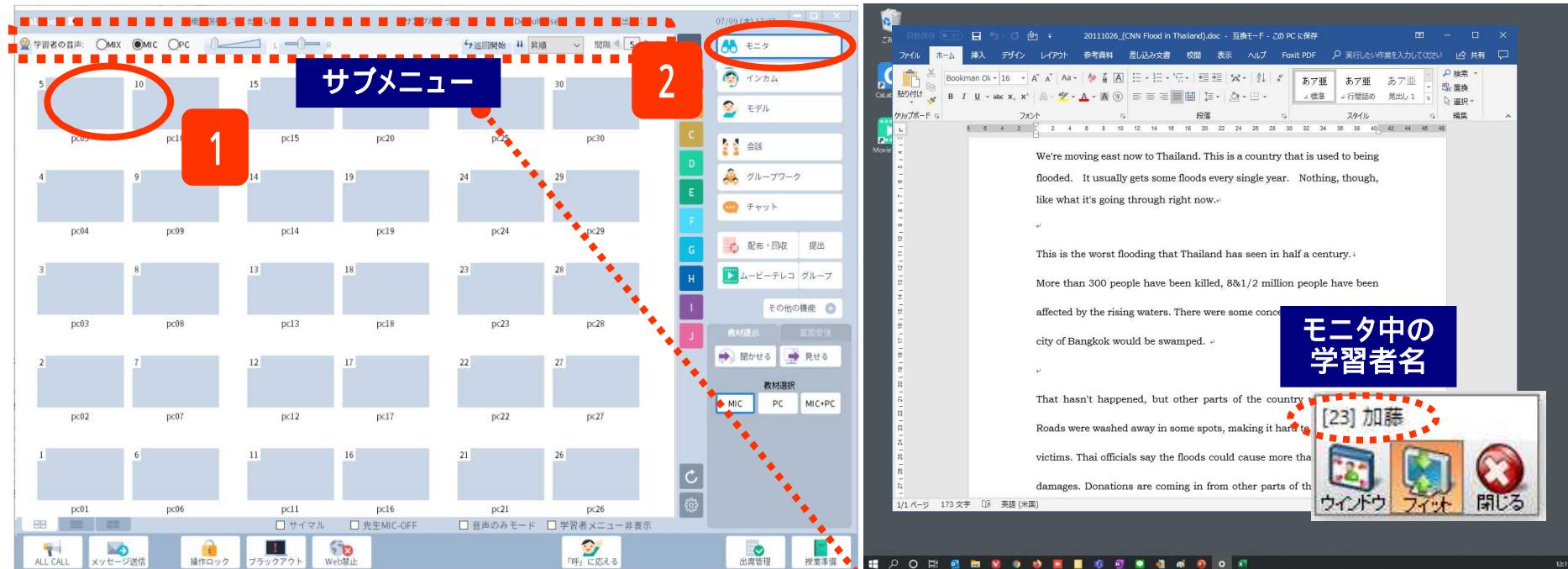
学習者のヘッドセットに選択した音声が流れます

※会話中呼びかけるときなどにも使用することができます

※モニタ・インカム・モデル機能との併用はできません

# 1人ずつモニタリング

画面音声受信



1. モニタしたい座席アイコンを選択(複数選択は不可)

2. [モニタ]ボタンをクリック

左側の先生画面に、選択した学習者の画面が表示され、補助機能バーのタイトルにモニタ中の学習者名が表示されます。

モニタ対象者を変更したい場合は、その座席アイコンを選択します。(複数選択は不可)

## サブメニューの機能



モニタ音声の切り替え

MIC : 学習者のマイク音声

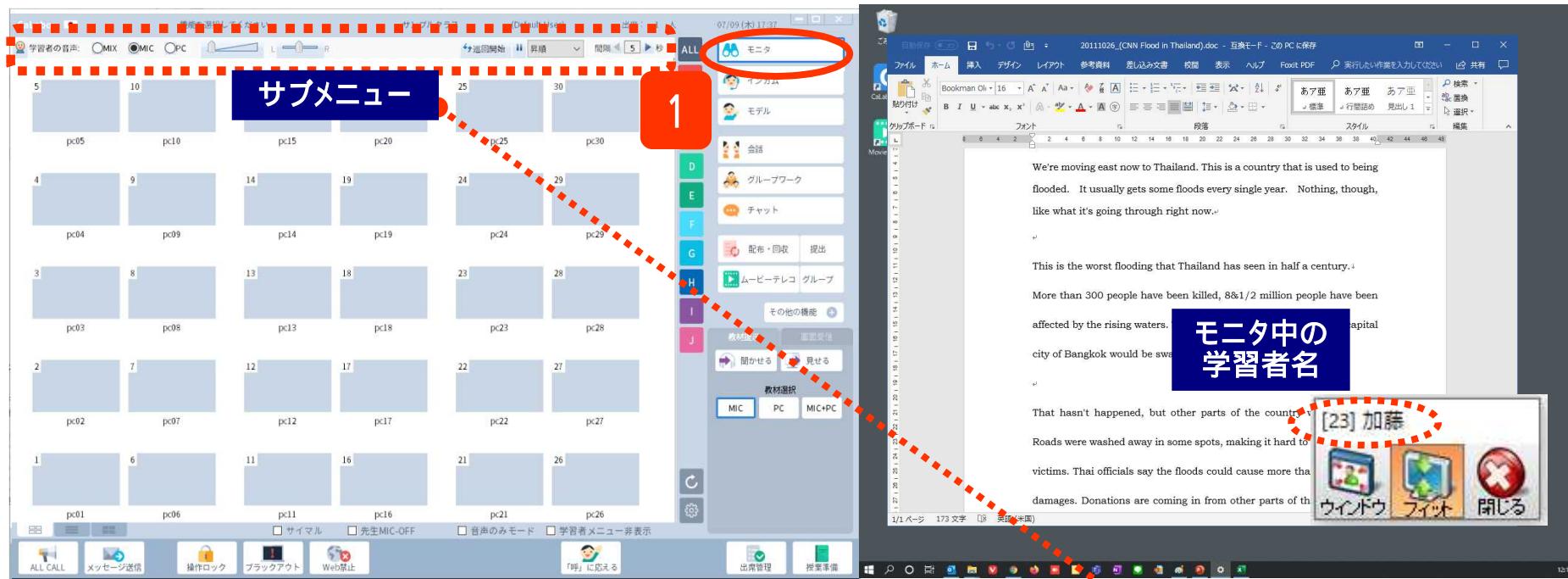
PC : 学習者のPC音声

MIC+PC : 学習者のマイクとPCの音声

モニタ音量の調整

# 順番にモニタリング(巡回モニタ)

画面音声受信

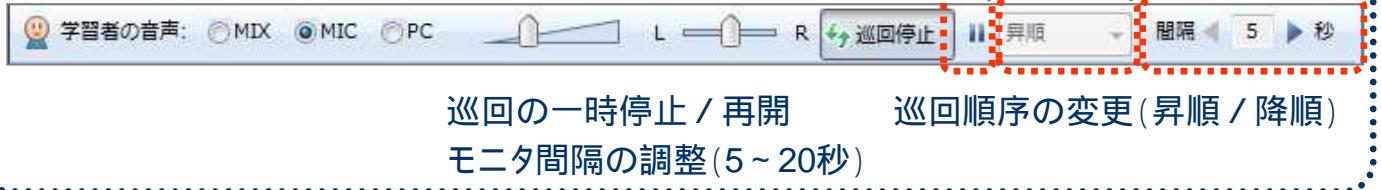


## 1. [モニタ]ボタンをクリック

左側の画面に、座席番号順に学習者画面が表示され、補助機能バーのタイトルに学習者名が表示されます。一定時間経つと、次の学習者へ移ります。

### サブメニューの機能

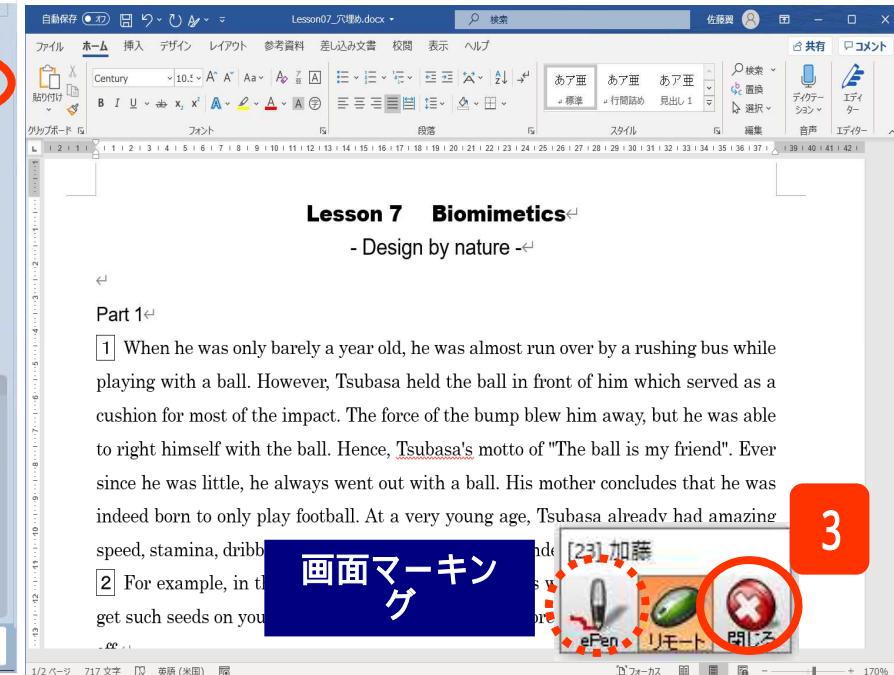
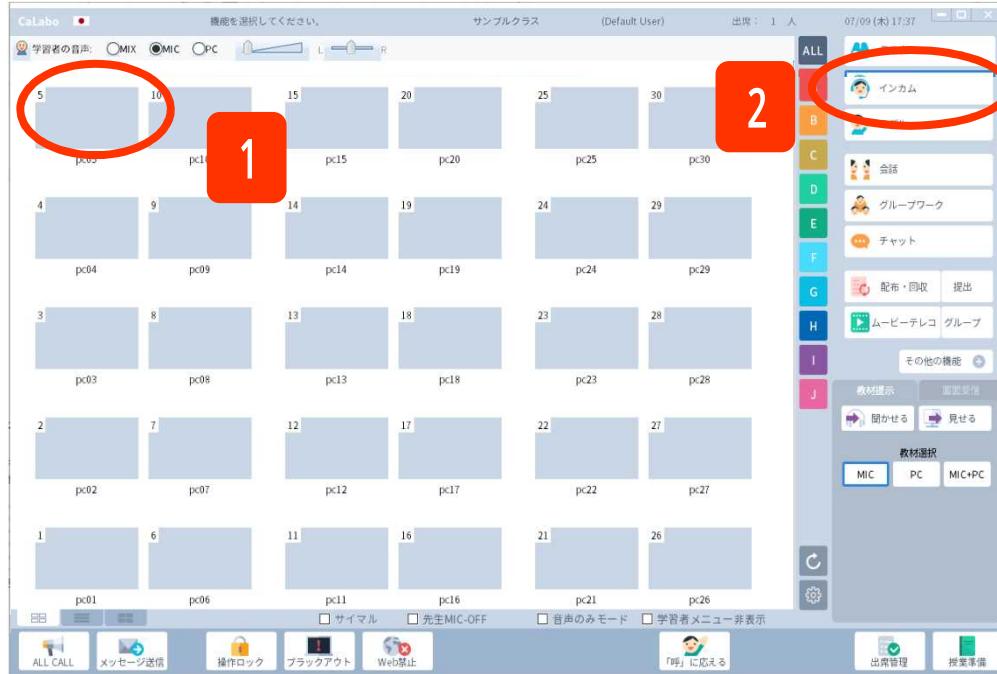
[モニタ]をクリックする前に複数の座席を選択しておくと、それらの座席を順番に表示します。



# 個別指導

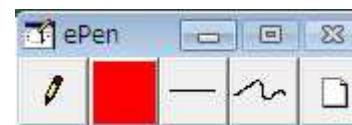
(1対1の通話 / 先生による添削指導)

## 画面音声受信



1. 添削したい学習者をクリック
2. [インカム] ボタンをクリック  
左画面に学習者画面が表示され、直接操作できます。  
同時に、ヘッドセットで学習者と通話もできます。  
対象者を変更するには次の座席アイコンをクリックします。
3. やめるには補助機能バーの [閉じる] ボタンをクリック、  
または再度 [インカム] ボタンをクリック

### 画面マーキング(ePen)



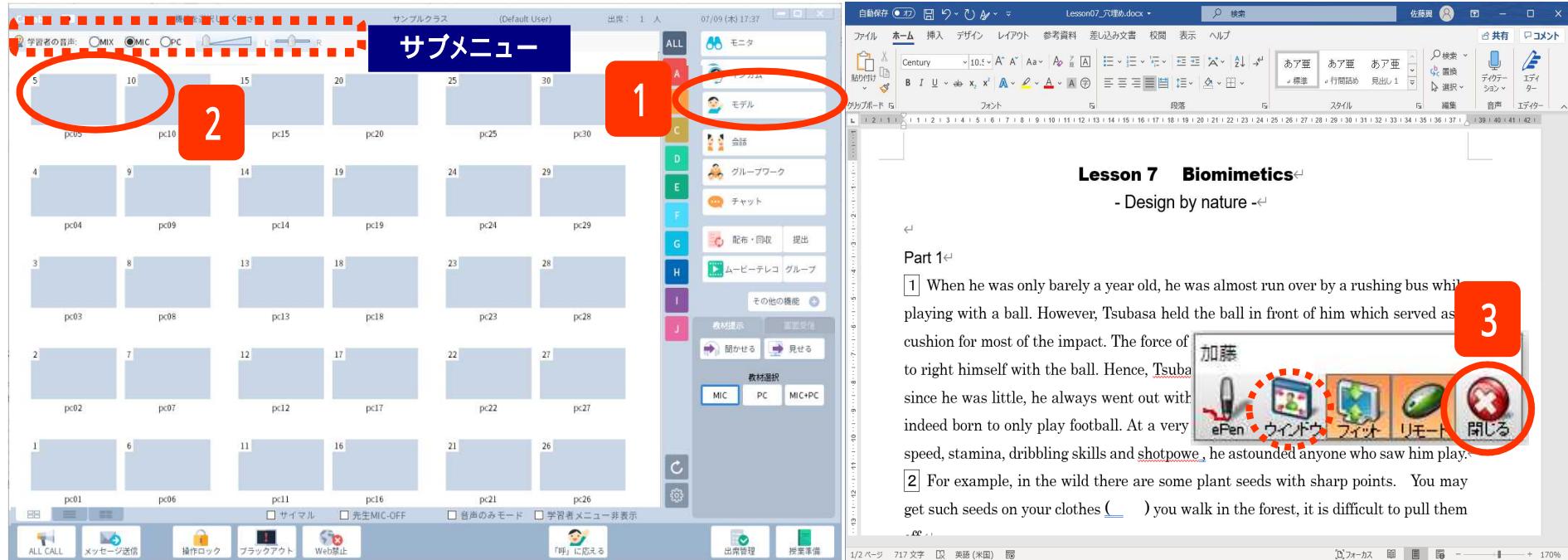
マウス操作 /  
マーキング切り替え  
色変更  
太さ変更  
描画種類変更  
全消去

手順1, 2. の代わりに、座席アイコンをダブルクリックしても[インカム]状態になります。

# 1人に発表させる

(発表 / 全員の画面に映して添削指導)

画面音声受信



1. [モデル]ボタンをクリック

2. 発表させたい学習者をクリック

左の先生画面と学習者全員に発表者画面が表示されます。  
先生は発表者画面を直接操作できます。

モデル元を変更するには、別の座席アイコンをクリックします。

3. やめるには補助機能バーの [閉じる] ボタンをクリック、  
または再度 [モデル] ボタンをクリック

サブメニューで選択した音声と先生マイク音声を全員に聞かせることができます。

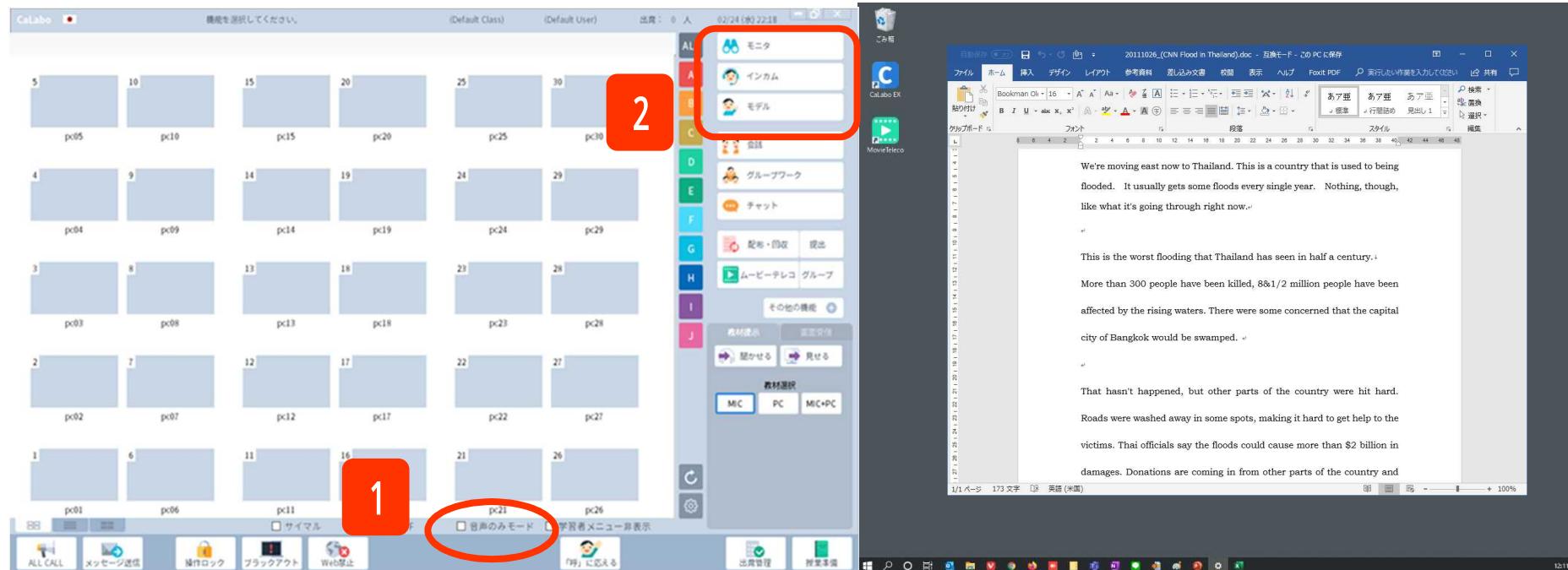
発表元の画面をウィンドウサイズで表示するには補助機能バーの[ウィンドウ]をクリックします。

手順1. 2. を逆にすると、発表先を選ぶダイアログが表示され、一部の学習者に対して発表できます。

# 音声のみモード

画面音声受信

[モニタ] [インカム] [モデル] 機能は画面と音声を同時に扱いますが、これらの機能を実行する前に「音声のみモード」にチェックを入れておくと、音声だけの機能になります。



1. クラスエリアの下の「音声のみモード」にチェック
2. [モニタ] [インカム] [モデル] 機能を実行(各手順に従う)

機能の途中で「音声のみ」「画面・音声同時」に切り替えることはできません。

# ランダムに指名する・発表させる

指名



1. クラスエリアの座席のない部分で右クリックし、表示されるメニューから「自動抽選」を選択  
「自動抽選」ダイアログが表示されます。
2. [開始]ボタンをクリック  
少しすると、座席ID・表示名欄に1人の学習者が表示されます。表示欄の背景がピンク色になります。

抽選後に[インカム] / [モデル]ボタンをクリックすると、対象者とインカムする / 対象者をモデル元にすることができます。  
特定の学習者(複数)の中から選びたい場合、対象となる座席アイコンを選択状態にします。  
(現在出席中の学習者全員の中から選びたい場合は、特に選択する必要はありません)

# チャット

## 文字伝達

チャットボードを起動し、学習者どうして文字のやりとりをさせます。  
会話やグループワークと併用すると、ペアやグループ内でのやりとりになります。  
併用せず、対象座席を選択せずに実行すると、クラス全員参加のチャットになります。



1. [チャット]ボタンをクリック  
先生画面と学習者画面にチャットボードが表示されます。
2. 対象Tableをクリック
3. コメントを入力し[発言]ボタンをクリック  
選択しているTableの学習者にコメントが送られます。

匿名モード : 学習者のチャットボードには発言者名を表示しない  
(先生には表示される)

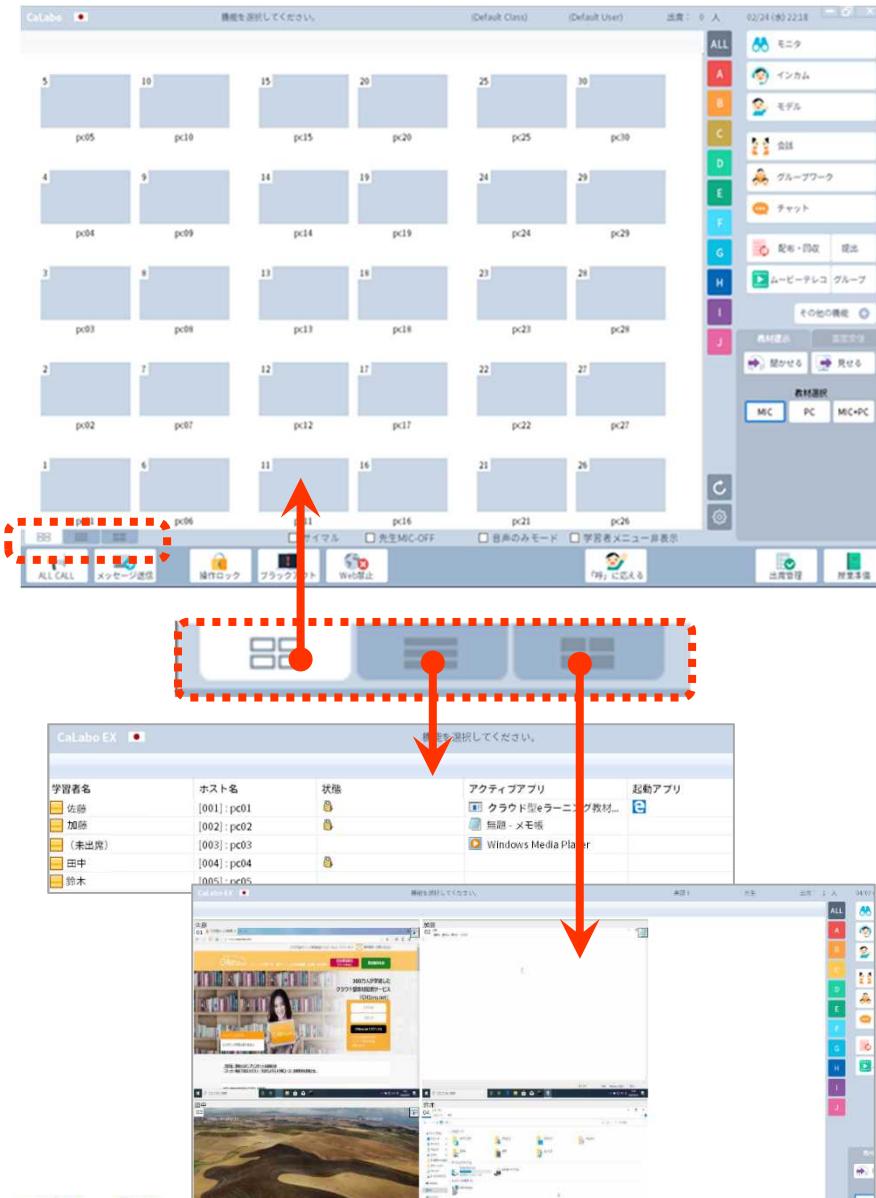
全グループに配信 : 全Tableに先生のコメントを送る

[保存] : 選択したTableまたは全Tableのチャット内容をファイルに保存

[一斉保存] : 先生の操作で、学習者側にチャット内容を一斉に保存

# アイコン表示とサムネイル表示

## 基本操作



コントロール画面を起動すると、座席アイコンが表示され、学習者PCの画面が表示されます。（＝アイコン表示）

この表示は「座席ビュー切り替えタブ」で「リスト表示」「サムネイル表示」に切り替えることができます。

### アイコン表示

座席レイアウトどおりにアイコンが並び、1つ1つの座席アイコンには学習者PC画面が表示されます。

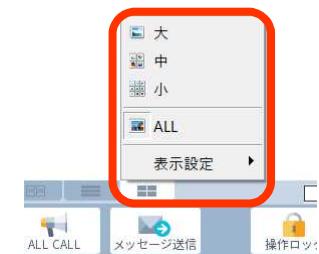
### リスト表示

学習者が起動しているアプリケーションを一覧で確認できます。

### サムネイル表示

出席者全員のPC画面が一覧で表示されます。画面の並びは座席番号順になります。

サムネイル表示タブを再度クリックすると、メニューで画面の大きさを切り替えられます。



# アナライザー概要

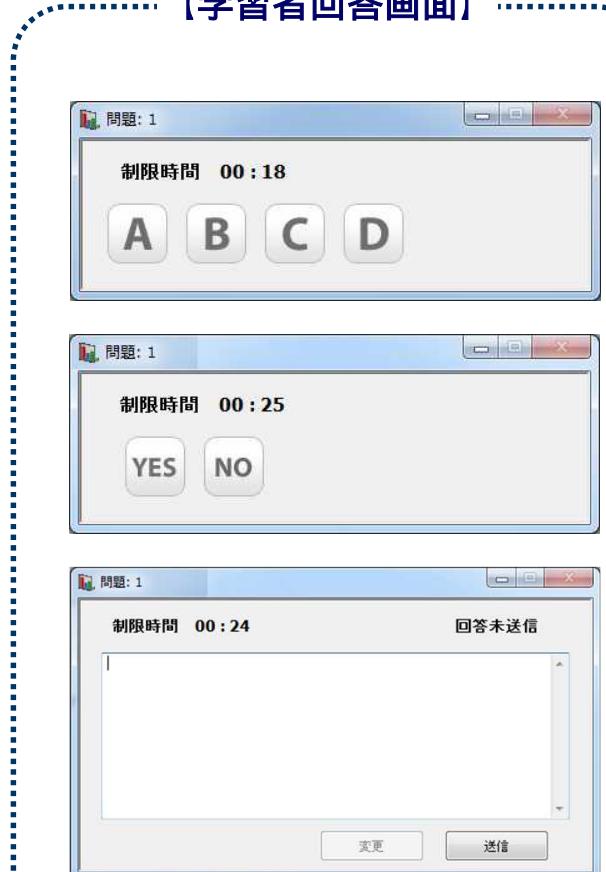
回答収集

すぐ使えるシンプルなアナライザーを使い、その場でクラス全体の理解度を把握できます。  
アナライザーを起動するとコントロール画面のアイコンが変わり、回答状況が表示されます。  
結果はその場でグラフ化され、学習者の回答内容・回答時間も確認することができます。

【コントロール画面】

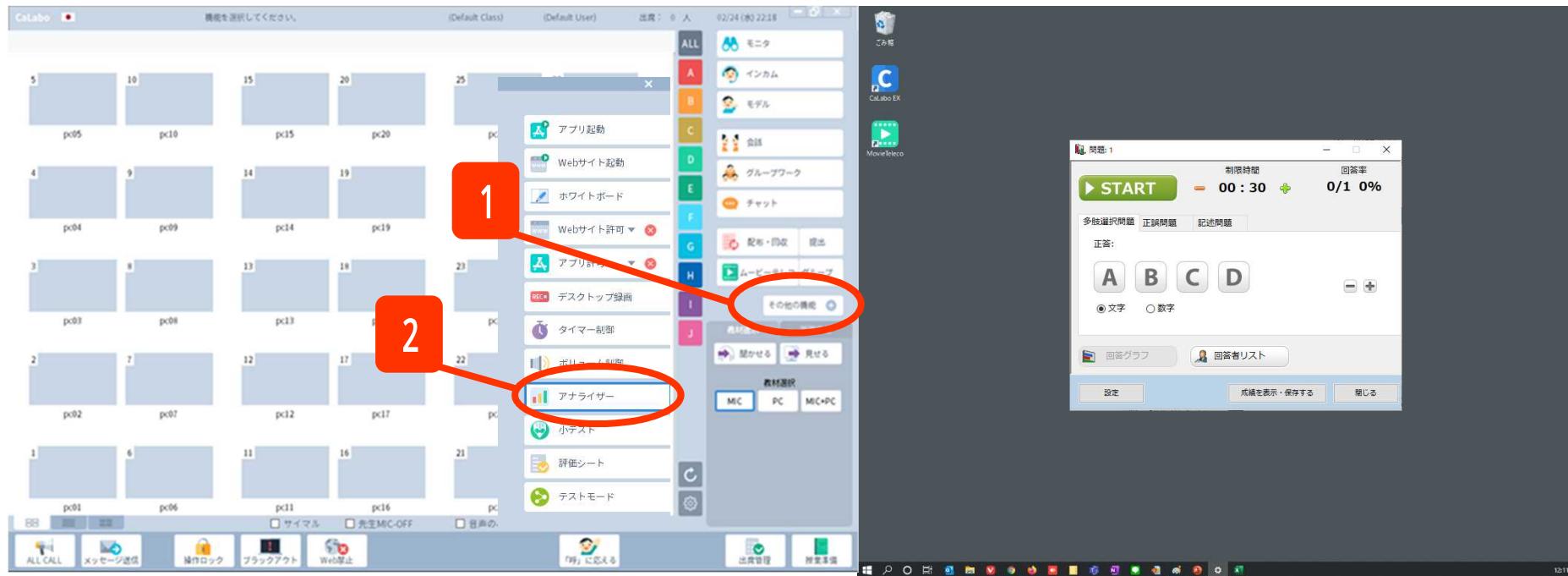


【学習者回答画面】

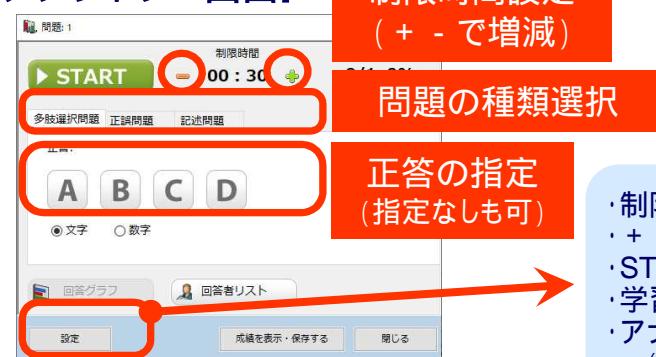


# アナライザーを起動する

回答収集



【アナライザーパネル】



制限時間設定  
(+ - で増減)

問題の種類選択

正答の指定  
(指定なしも可)

1. [その他の機能]ボタンをクリック  
「その他の機能」パネルが表示されます。

2. [アナライザー]ボタンをクリック  
アナライザー画面が表示されます。

- 制限時間の既定値(30秒)
- + - ボタンの増減値(10秒)
- STOP時に回答グラフを自動で表示(表示しない)
- 学習者にも回答グラフを自動で表示(表示しない)
- アナライザー画面終了時、自動でCSV保存(保存する)  
(保存先 = (ドキュメント)\Chleru Analyzer Results )  
かっこ内は既定値

# アナライザーの問題種類と設定

回答収集

## 多肢選択問題

【先生側】



- ・選択肢は2~6個([+][+]ボタンで増減)
- ・単一正解
- ・ボタン表記はアルファベット(A~F)または数字(1~6)を指定可

【学生側】



## 正誤問題

【先生側】



- ・ボタン表記は「Y / N」「✓ / ×」「/ / ×」を指定可

【学生側】



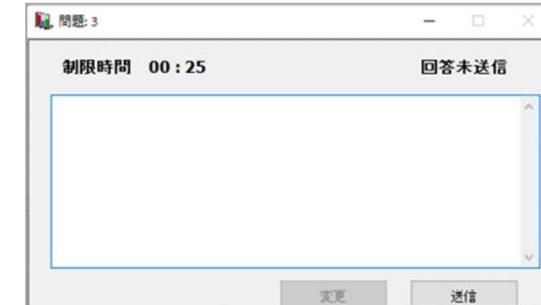
## 記述問題

【先生側】



- ・正答と「自動で採点する」を指定すると正誤判定可
- ・自動で採点する場合、大文字・小文字を区別するか否かを指定可

【学生側】



# アナライザーを実行する

## 回答収集



### 1. 問題種類、正答、制限時間を指定し、[START]ボタンをクリック

[START]ボタンが[STOP]ボタンに変わり、制限時間のカウントダウンが始まります。「回答率」には出席者数と回答者数、回答した割合(%)が表示されます。

同時に、学習者側にアナライザー回答画面が表示され、学習者の回答を受け付けます。

正答は、問題実行前ではなく、回答受け付けを締め切った後に指定することもできます。  
制限時間は、問題実行中でも[+][-]ボタンで変更することができます。

### 2. 制限時間前に回答受け付けを締め切るには[STOP]ボタンをクリック

回答を締め切り、手順1. の画面にもどります。

### 3. [回答グラフ][回答者リスト]ボタンをクリック

選択肢ごとの回答者数の棒グラフ(記述問題の場合、回答/未回答数)、学習者ごとの回答内容の一覧を表示します。(回答受け付け中も表示できます。)

[学習者に表示する]をクリックすると、同じ内容を学習者に表示します。

### 4. アナライザーを終了するには[閉じる](または[×])ボタンをクリック

アナライザーフィールドや「回答グラフ」「回答者リスト」を閉じ、開始から終了までの結果をCSVファイルに出力します。

(ドキュメント)¥CHleru Analyzer Results ¥(日付)  
¥AnalyzerResults\_YYYYMMDD\_hhmmss.csv



# 評価シート概要

デジタルの評価シートを配布し、学習者どうしでプレゼンテーション等の評価することができます。

評価シートでは、項目ごとの点数とコメントで評価することができます。

評価結果を即座に集計し、先生が確認するファイルと発表者へのフィードバック用のファイルが作成されます。

【評価画面】

**評価シート**

**評価項目**

名称: グループAの発表

説明: 各グループの発表を5段階で評価してください

(1) 自由に感想を記入してください  
|

(2) 改善点があれば記入してください  
|

**評価シート**

**評価項目**

名称: グループAの発表

説明: 各グループの発表を5段階で評価してください

評価ポイント 評価点

(1) 内容・構成	5	4	3	2	1
(2) 話し方・対応	5	4	3	2	1
(3) チームワーク	5	4	3	2	1
(4) 時間	5	4	3	2	1
(5) 質疑応答	5	4	3	2	1

評価を送信する

【評価結果ファイル】

A B C D E F G H I

1 2018/1/31 16:23

2 グループAの発表

3 各グループの発表を5段階で評価してください

4 内容・構成話し方・対チームワーク時間(1~5)質疑応答(1合計点)自由に感想改善点がある場合の使い方

5 先生 4 5 4 4 5 22 準備がしっかり時間の使い方

6 岡本 紗々花 4 3 4 3 3 17 ちゃんとしもっと声を

7 有田 たかお 5 5 2 4 4 20 なかなかのチームワーク

8 さだ 由樹 3 2 4 3 5 17 もうすこし特になし

9 富田 桃子 2 4 2 2 4 14 できるだけ内容が薄か

10 石橋 龍吉 4 5 4 3 5 21 この前のは先日の者よ

11 秋本 雅之 2 3 5 4 2 16 理論的に述検証結果が

12 役所 だん吉 4 4 3 5 3 19 今度はどう齊藤さんの

13 上野 真吾 5 1 2 4 4 16 知らないご 今度の発表

14 岡山 浩介 3 4 4 2 5 18 前回よりも声の大きさ

15 内藤 瑞子 2 5 5 3 4 19 発表の仕方発表の仕方

16 早坂 田淵 宇音

評価シート - グラフ表示

X と声をのわく

(1) 内容・構成 1 5 3.5

(2) 話し方・態度 1 5 3.0

(3) チームワーク 1 5 4.0

(4) 時間 1 5 4.5

(5) 質疑応答 1 5 2.0

合計: 17.0 / 25

20/40人回答済 閉じる

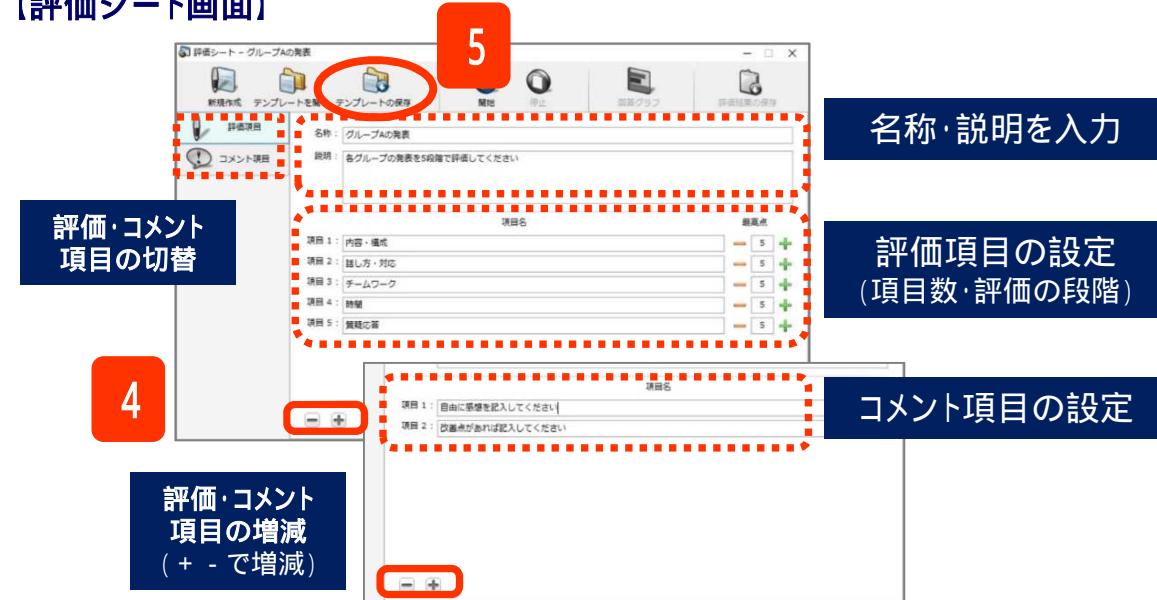
**【評価平均グラフ】**

# 評価シートフォームを作成・保存する

相互評価



[評価シート画面]



1. [その他の機能]ボタンをクリック  
「その他の機能」パネルが表示されます。

2. [評価シート]ボタンをクリック  
評価シート起動画面が表示されます。

3. [新規作成]ボタンをクリック  
評価シート画面が表示されます。

4. 名称・説明を入力し、評価項目を設定  
評価項目: 項目数20個まで、評価レベル2~100段階  
コメント項目: 項目数10個まで

5. [テンプレートの保存]ボタンをクリック  
保存先・ファイル名を指定して保存します。

# 評価シートで評価を実行する

相互評価



1. [評価シート]ボタンをクリックし、[テンプレートを開く]ボタンをクリック  
保存した評価シートフォームを選択して開きます。
2. [開始]ボタンをクリック  
学習者に評価シートが表示され、先生・学習者が評価できます。  
先生にはグラフも表示されます。

3. 先生も評価、「グラフ表示」画面で評価した人数を確認
4. [停止]ボタンをクリック  
評価を締め切り、集計結果が自動で保存されます。

学習者画面



保存先 =  
(ドキュメント)¥CHleru Evaluation Results  
ファイル名 =  
評価結果\_(日時).csv  
評価結果\_(日時)\_feedback.csv  
評価結果\_(日時)\_feedback.jpg

項目ごとに評価を選択、コメントを入力します。  
評価 / コメント項目の切り替えは[項目切り替え]ボタンで切り替えます。

[評価を送信する]ボタンをクリックすると、グラフ表示の学習者数がカウントUPされます。

# 評価シートの結果ファイル

相互評価

評価シートの実行を締め切ると、自動的に次の3種類のファイルが保存されます。

## 【評価結果\_YYYYMMDDhhmmss.csv】

先生の確認・記録用に、先生の評価・コメント、学習者ごとの評価・コメントおよび項目ごとの学習者平均が出力されます。評価者名も出力されます。(番号順)

先生の評価

学習者の評価  
(名前あり、番号順)

学習者の評価平均

A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	2018/1/31 16:23							
2	グループAの発表							
3	各グループの発表を5段階で評価してください							
4	5	4	3	2	1	0	22	準備しておいた手帳
5	6	5	4	3	2	1	17	なかなかのチーム
6	7	6	5	4	3	2	14	できただけ内容が豊富
7	8	7	6	5	4	3	21	こののは先生の意見
8	9	8	7	6	5	4	16	理論的に正確な結果
9	10	9	8	7	6	5	19	半ばばらった表現
10	11	10	9	8	7	6	16	知らないごく他の
11	12	11	10	9	8	7	18	前回よりも声の大
12	13	12	11	10	9	8	19	発表の仕方発表の人
13	14	13	12	11	10	9	19	先生のつまら
14	15	14	13	12	11	10	16	なかなかのチーム
15	16	15	14	13	12	11	22	準備がいい時間の
16	17	16	15	14	13	12	17	知らない今度の発
17	18	17	16	15	14	13	18	前回よりも声の大
18	19	18	17	16	15	14	19	発表の仕方発表の人
19	20	19	18	17	16	15	19	先生のつまら
20	21	20	19	18	17	16	16	あしかった興味のわ

## 【評価結果\_YYYYMMDDhhmmss\_feedback.csv】

評価対象者へのフィードバック用に、先生の評価・コメント、学習者ごとの評価・コメント(無記名)および項目ごとの学習者平均が出力されます。評価者が特定されないように、評価者名は出力されず、並び順もランダムになります。

先生の評価

学習者の評価  
(名前なし、ランダム順)

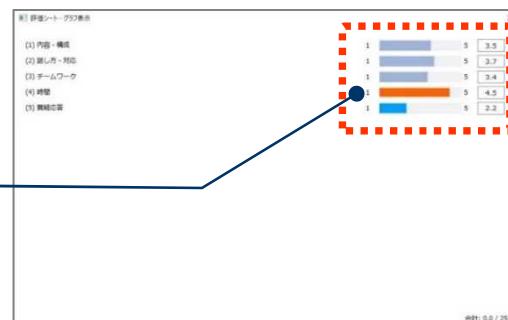
学習者の評価平均

A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	2018/1/31 16:23							
2	グループAの発表							
3	各グループの発表を5段階で評価してください							
4	5	4	3	2	1	0	22	準備がいい時間の
5	6	5	4	3	2	1	16	知らない今度の発
6	7	7	6	5	4	3	18	前回よりも声の大
7	8	8	7	6	5	4	19	今度はもう声の大き
8	9	9	8	7	6	5	19	先生の仕方発表の人
9	10	10	9	8	7	6	19	先生のつまら
10	11	11	10	9	8	7	17	もうすこし持にし
11	12	12	11	10	9	8	17	ちゃんとしもっ
12	13	13	12	11	10	9	17	ちゃんとしもっ
13	14	14	13	12	11	10	20	なかなかのチーム
14	15	15	14	13	12	11	21	こののは先生の意
15	16	16	15	14	13	12	16	理論的に正確な結果
16	17	17	16	15	14	13	17	準備がいい時間の
17	18	18	17	16	15	14	18	前回よりも声の大
18	19	19	18	17	16	15	19	先生のつまら
19	20	20	19	18	17	16	16	あしかった興味のわ

## 【評価結果\_YYYYMMDDhhmmss\_feedback.jpg】

評価対象者へのフィードバック用に、評価項目ごとの学習者の平均グラフ静止画として出力します。

学習者の評価平均



# 小テスト概要

設問形式を組み合わせて問題を作成し、小テストとして一斉に実施します。

結果はその場で自動的に集計、保存されます。作成した小テストは、テスト用紙として印刷することもできます。

設問形式は下記の「単一選択」「複数選択」「入力」「正誤」「エッセイ」の5種類から選択することができます。

小テストを実施すると結果レポートが作成され、集計結果や学習者ごと／問題ごとの解答状況を確認することができます。

テスト名: 確認テスト クラス: 英語Ⅱ 科目: 英語 先生: 日向  注意事項: 問題文をよく読んで問い合わせなさい。 合計点: 60	<b>【小テスト】</b>
--	---------------

**【单一 / 複数選択】**

1. Unit4のニュースを見て、次の問い合わせに答えてください。  
 (配点:12) How much is the Rembrandt painting worth?

1. 14 million dollars  
 2. 40 million dollars  
 3. 140 million dollars  
 4. 1400 million dollars

**【入力】**

2. Mikiと学生のやり取りを見て答えなさい。(正解は1つとは限りません。)  
 (配点:12) Mark the phrases used by the first man that Miki asked.

A. It's pretty far from here.  
 B. It's more than a 10-minute walk.  
 C. It's behind the library.  
 D. Go past the student union.

**【正誤】**

3. During the election campaign, one of the main \_\_\_\_\_ was education.  
 (配点:12)

\* issue

**【エッセイ】**

4. The goddess in the painting is called Minerva.  
 (配点:12)

正  
 誤

5. あなたがもしこの絵を手に入れていたとしたら、どうしますか?  
 (配点:12)

テスト名: 確認テスト クラス: 英語Ⅱ 科目: 英語 先生: 日向  注意事項: 問題文をよく読んで問い合わせなさい。 合計点: 60	<b>【結果レポート】</b>
--	-----------------

**結果レポート**

**テスト情報**

日付	テスト名	クラス	科目	先生	学習者数
2012/12/11 20:46	小テスト1 (12/10)	CHIeruクラス	英語	CHIeru先生	8

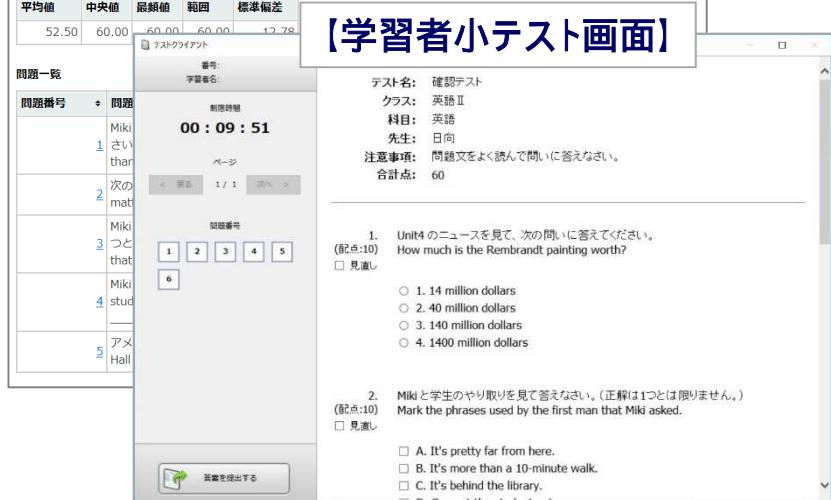
**学習者一覧**

学籍番号	学習者名	得点	正答率	偏差値
A00000001	Aoki	40 / 100	40.00%	42.71
A00000005	Endo	80 / 100	80.00%	66.05
A00000007	Kaneko	60 / 100	60.00%	54.38
A00000012	Koizumi	60 / 100	60.00%	54.38
A00000018	Suzuki	60 / 100	60.00%	54.38
A00000021	Suzumoto	20 / 100	20.00%	31.04
A00000033	Nakayama	60 / 100	60.00%	54.38
A00000036	Nishikawa	40 / 100	40.00%	42.71

**統計情報**

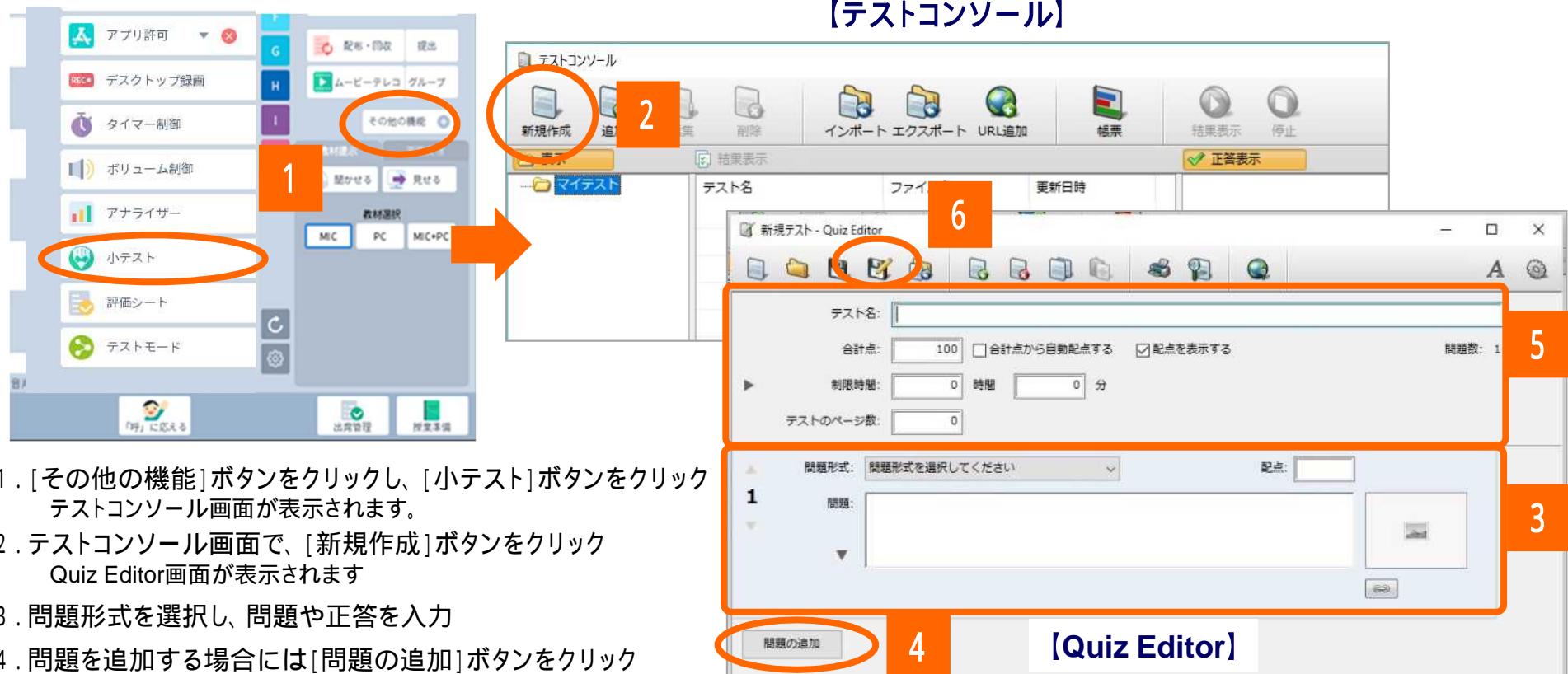
平均値	中央値	最頻値	範囲	標準偏差
52.50	60.00	60.00	60.00 - 17.78	

**【学習者小テスト画面】**



# 小テスト作成ツール起動・作成

小テスト



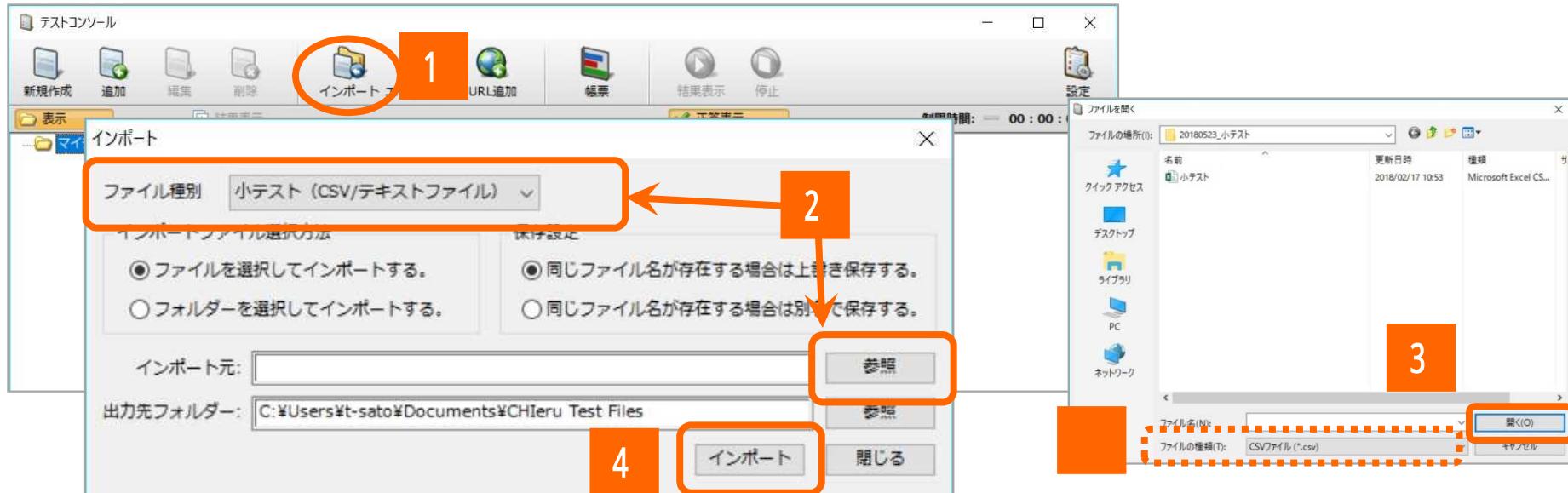
1. [他の機能]ボタンをクリックし、[小テスト]ボタンをクリック  
テストコンソール画面が表示されます。
2. テストコンソール画面で、[新規作成]ボタンをクリック  
Quiz Editor画面が表示されます
3. 問題形式を選択し、問題や正答を入力
4. 問題を追加する場合には[問題の追加]ボタンをクリック
5. 小テストの「テスト名」、「合計点」、「制限時間」、  
「テストのページ数」を入力
6. 作成が終了したら[名前を付けて保存]ボタンをクリック  
テストコンソール画面に作成した小テストが追加されます。

「テストコンソール」の[エクスポート]ボタンでCSVファイルとして  
エクスポート保存し、適宜編集後にインポートすることができます。

テスト名	：小テストのタイトルを指定します
合計点	：小テストの合計点を指定します
合計点から自動配点する	：チェックを入れると、問題数により均等に配点します
配点を表示する	：チェックを入れると、小テスト画面の設問に配点を表示します
制限時間	：制限時間を時間・分で指定します。「0時間0分」の場合、 [停止]ボタンで終了します。
テストのページ数	：複数ページに分けたい場合、ページ数を指定します

# CSVファイルから小テストをインポート

小テスト



1. テストコンソール画面の[インポート]ボタンをクリック  
インポート画面が表示されます。
2. 「ファイル種別」から「小テスト(CSV/テキストファイル)」を選択し、[参照]ボタンをクリック  
ファイルを開く画面が表示されます。
3. 作成した小テストインポート用ファイルを選択し[開く]ボタンをクリック
4. [インポート]ボタンをクリック  
テストコンソール画面に作成した小テストが追加されます。

# 小テストを開始する

小テスト



1. テストコンソール画面で[設定]ボタンをクリック  
テスト設定画面が表示されます。
2. 設定内容を確認し、[保存]ボタンをクリック
3. 実施したい小テストを選択し、[開始]ボタンをクリック  
学習者画面に小テストが表示され、小テストが開始されます。  
また、テストコンソール画面のプレビューが結果レポートに切り替わります。

## テスト設定での注意事項

### 【採点オプション】

「入力問題の前後スペースを区別する」にチェックが入っている場合、誤って文字列の先頭または末尾にスペースが入っていると不正解になります。

### 【テスト結果の表示】

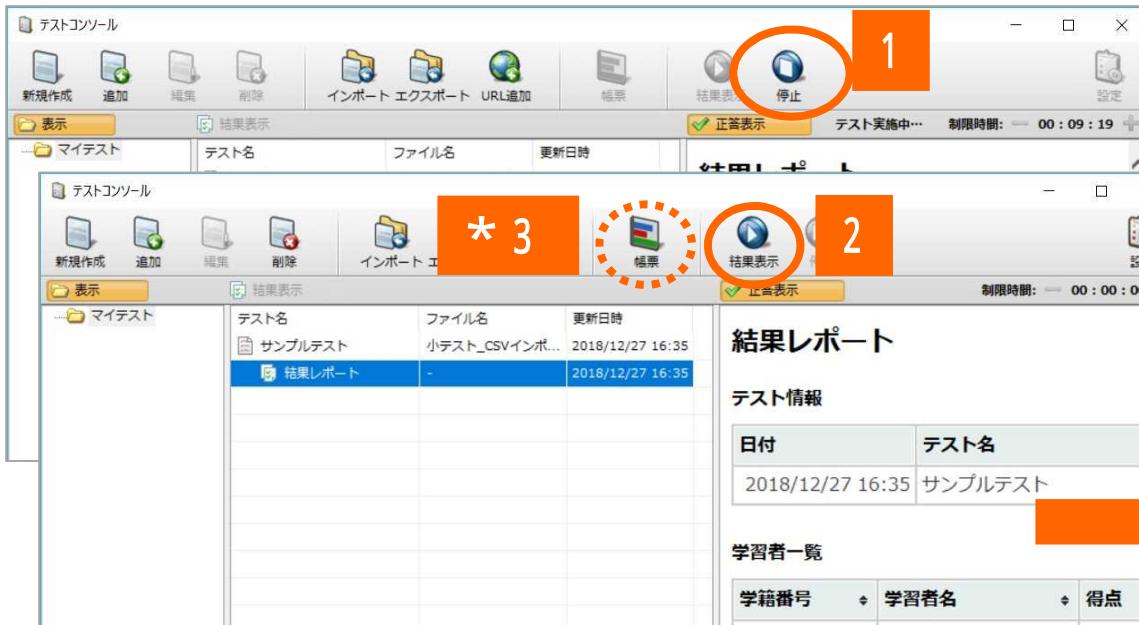
小テスト終了後、学習者に表示する内容を選択します。

- ・得点を表示する : 得点のみ表示します
- ・採点結果の詳細を表示する : 設問ごとの正誤、自分の解答を表示します。  
「生徒に正解を表示する」にチェックを入れると、  
設問ごとの正答も表示します。



# 小テストの結果表示

小テスト



## 【結果レポート】

This screenshot shows the 'Result Report' window in more detail:

学籍番号	学習者名	得点	正答率	偏差値
	t-sato			50.00

**問題一覧**

問題番号	問題	正答率
1	Unit 4 のニュースを見て、次の問い合わせに答えてください。How much is the Rembrandt painting worth?	
2	Miki _____ が見て答えなさい。（正解は1つとは限りません）	
3	During the election campaign, one of the main _____ was education.	
4	The painting has been in private collections.	
5	The goddess in the painting is called Minerva.	
6	_____ がおもに手に持つ物でありますか？	

1. [停止] ボタンをクリック  
答案を提出していない学習者の答案を強制的に回収し、小テストを終了します。

2. [結果表示] ボタンをクリック  
学習者画面に個人の「採点結果」画面が表示されます。  
設定で結果表示が有効になっている場合、自動で表示されます。

- \* 1 結果レポートで「学習者名」をクリックすると、学習者別の採点結果が確認できます。
- \* 2 結果レポートで「問題番号」をクリックすると、問題別採点結果が確認できます。
- \* 3 結果を印刷したい場合には[帳票]ボタンをクリックしてそれぞれの結果を印刷することができます。

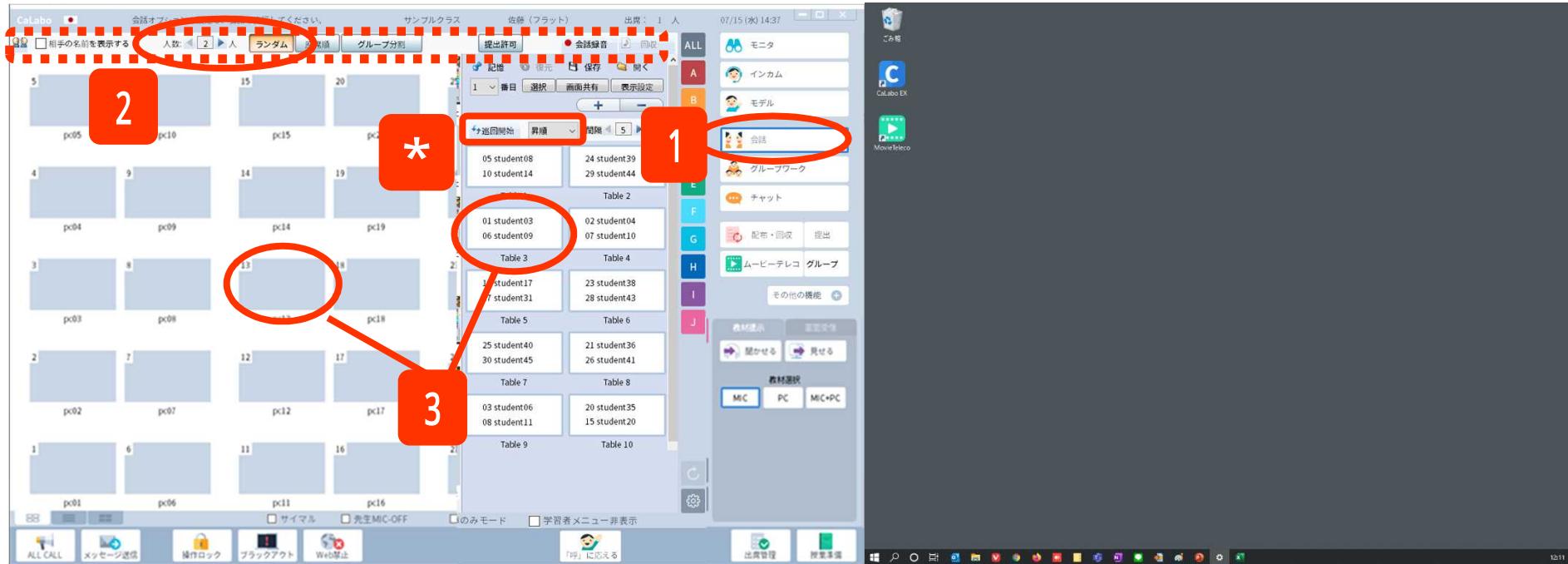
# その他の機能

## その他の機能



ボタン名称	機能の概要
アプリ起動	指定したアプリを一斉に起動します
Webサイト起動	指定したWebサイトを一斉に起動します
ホワイトボード	グループでホワイトボードを共有し、皆で描き込めます
Webサイト禁止・許可	Webサイトへのアクセスを制限します
アプリ禁止・許可	アプリの起動を制限します
デスクトップ録画	先生画面の操作手順を録画し、学習者に渡せます
タイマー制御	指定した時間経過後、メッセージ送信や画面ロック／解除します
アナライザー	アナライザーを実施し、その場で結果を表示します
小テスト	テスト用紙形式の小テストを作成し、一斉に実施、その場で結果を把握できます
評価シート	学習者に評価シートを配布し、学習者による評価対象の評価結果をその場で集計します。
テストモード	「アプリ許可／禁止」と「Webサイト許可／禁止」を組み合わせて実行し、これらの制限を終了するときに学習者パソコンをロックしたり、メッセージを送ったりすることができます。
イータイピング一斉テスト	タイピングの一斉テスト(CBT)を実施し、即座にランキング表示します。(オプション機能)

# ヘッドセットで会話させる

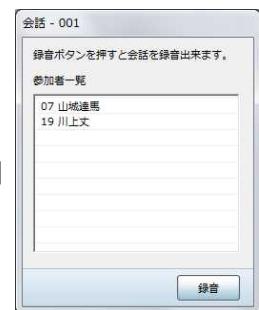


1. [会話]ボタンをクリック  
クラスエリアにTableエリアが表示されます。
2. サブメニューで、人数を指定し、[ランダム] または[座席順]、[グループ分割] (もしくは[縦ペア] [横ペア])ボタンをクリック  
Tableが表示され、学習者は会話できる状態になります。  
[グループ分割]は事前にグループを組む必要があります。
3. Table または 座席アイコンをクリックすると、会話音声を  
モニタ します  
  
モニタ対象を切り替えるには、ほかのTable または 座席アイコンを  
クリックします。  
モニタをやめるには、Tableエリアでグレー色の部分をクリックします。

## 学習者画面

会話ウィンドウで会話相手  
を確認できます。

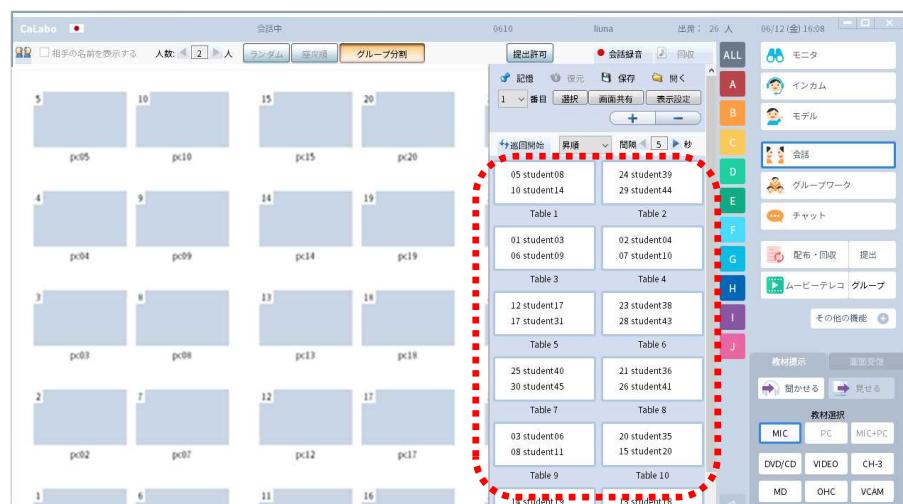
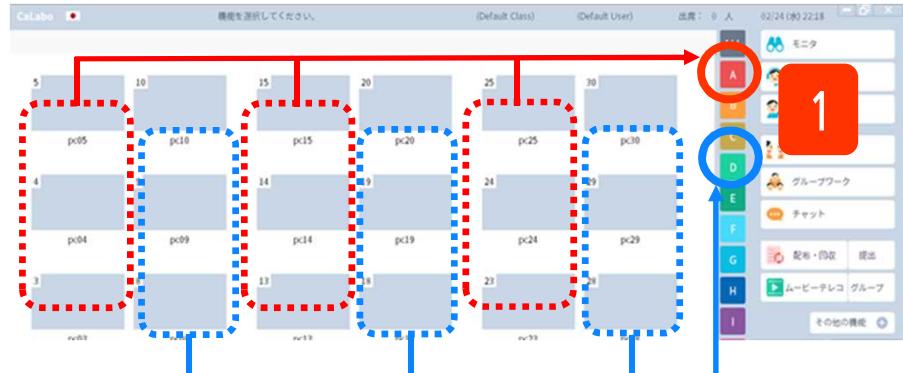
お互いの名前を表示しないため  
には、手順2.でサブメニュー「相  
手の名前を表示する」のチェック  
を外してからボタンをクリックしま  
す。(匿名モード)



- \* [巡回開始]をクリックすると、Table番号の昇順 / 降順  
に自動で順次モニタできます。

# グループから1人ずつランダムに選んでペア会話をする

クラスをA, B 2つのグループに分けておき、A, B から1人ずつランダムに選んでペアを組み、会話することができます。  
会話機能を実行する前にグループ分けしておく必要があります。



1. 座席アイコンをグループタブにドラッグアンドドロップし、クラスを2つのグループに分けます。

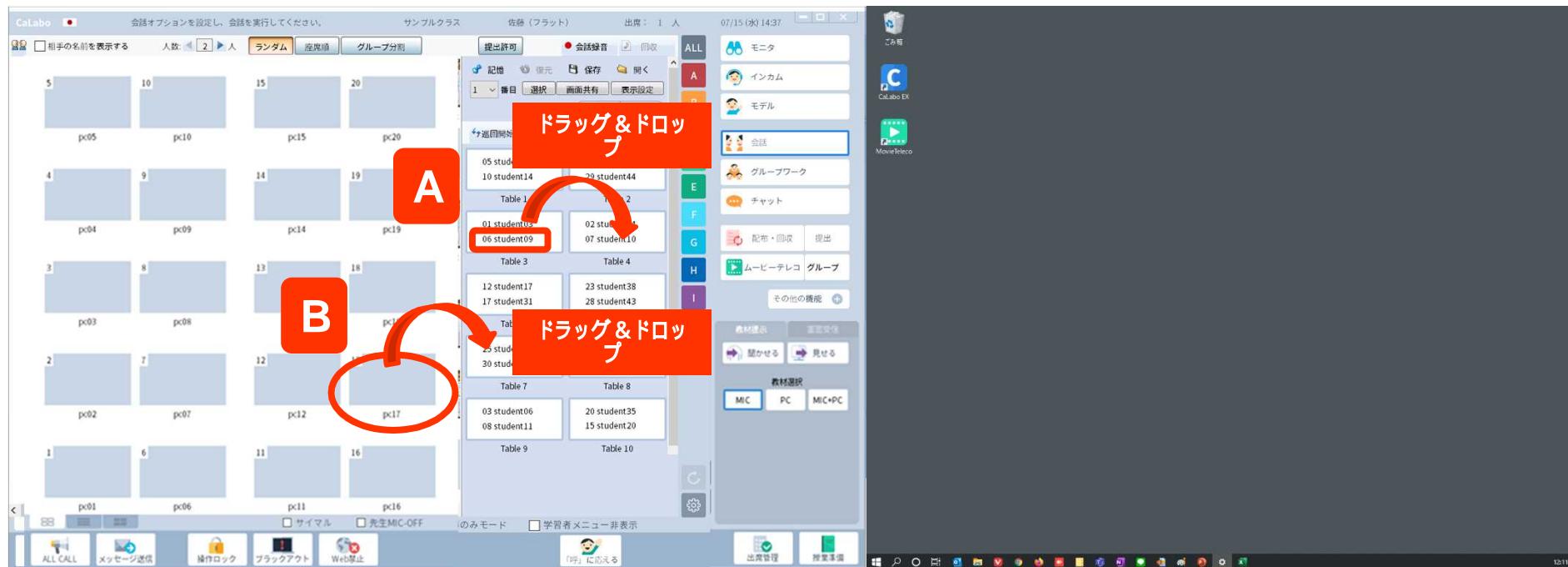
**グループに含まれない学習者はペア組の対象外になります。**

2. [会話]をクリック  
クラスエリアにTableエリアが表示されます。
3. [グループ分割]ボタンをクリック  
Tableが表示され、学習者は会話できる状態になります。

- [グループ分割]での会話は、3つ以上のグループで実行することもできます。各グループから1人ずつランダムに選んでグループを組み、会話をします。
- 各グループの人数が異なる場合、一番少ないグループの人数に合わせて会話Tableが作られ、残りの学習者は各会話Tableに適宜振り分けられます。

# 会話のメンバーを自由に組み替える

会話

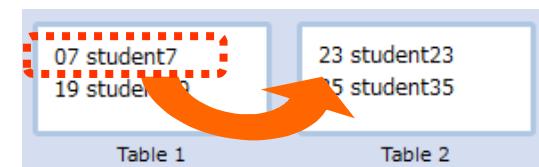


2通りの方法があります。

(A)会話中に  
Table内の学習者名をドラッグ & ドロップして組み替え

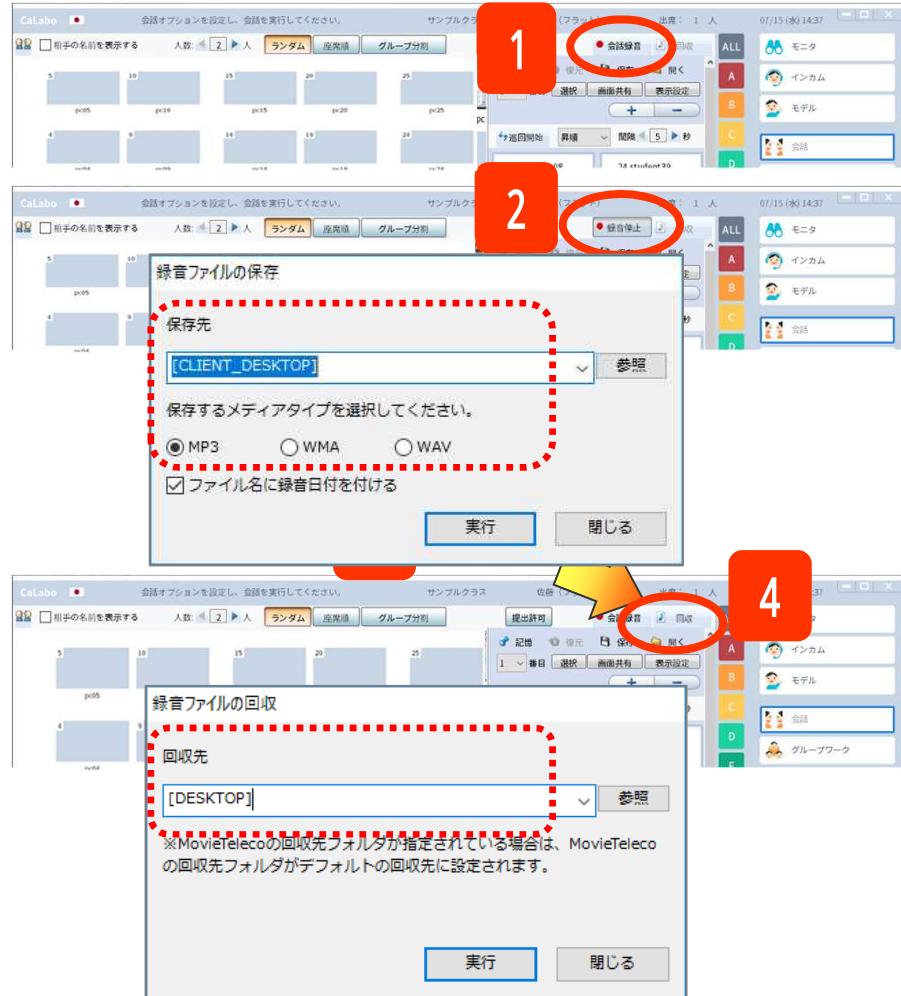
(B)または、座席アイコンをTableにドラッグ & ドロップして組み替え

会話実行時には出席していなかった学習者(遅刻者)の  
座席をドラッグ & ドロップで会話に加えることができます。



# 会話の録音(1)：先生が録音・回収する

先生の操作で、学習者の会話音声を一斉に録音することができます。  
回収する場合は、いったん学習者PCに保存後、回収する流れになります。



## 1. [会話録音]をクリック

一斉に会話の録音が開始され、録音秒数が表示されます。  
ボタン表記が[会話開始]→[会話停止]に変わります。

## 2. [会話停止]をクリック

録音を停止し、「録音ファイルの保存」ダイアログが表示されます。

## 3. 保存先、ファイル形式を確認し、[実行]ボタンをクリック

確認画面が表示されるので[はい]ボタンをクリックします。  
会話音声が学習者PCに保存されます。(ファイル名は日時)  
録音の[回収]が有効になります。

## 4. [回収]をクリック

「録音ファイルの回収」ダイアログが表示されます。

## 5. 回収先を確認し、[実行]ボタンをクリック

先生の回収先のフォルダに録音音声が保存されます。

**学習者全員分の録音音声が回収されます。**  
ファイル名の先頭にはTable番号(ペア番号)がつきます。  
録音音声を確認するときには、同じTable番号のどれか1つを再生して聞きます。

# 会話の録音(2): 学習者に録音・提出させる

会話実行中、学習者に会話を録音・保存させることもできます。録音した音声は提出させることもできます。

## 先生の操作

### 1. [提出許可]ボタンをクリック

学習者は提出可能になり、学習者の「会話ダイアログ」に[提出]ボタンが表示されます。



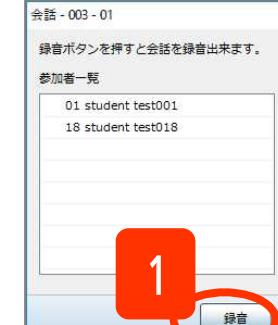
### 2. 提出を終了するには、再度[提出許可]ボタンをクリック

提出が締め切られます。

## 学習者の操作

### 1. [録音]ボタンをクリック

会話の録音を開始します。  
録音時間が表示されます。

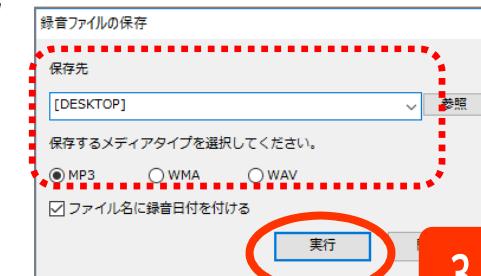


### 2. 録音を終了するには、再度[録音]ボタンをクリック

録音を停止し、「録音ファイルの保存」ダイアログが表示されます。



### 3. 保存先、ファイル形式を確認し、[実行]ボタンをクリック

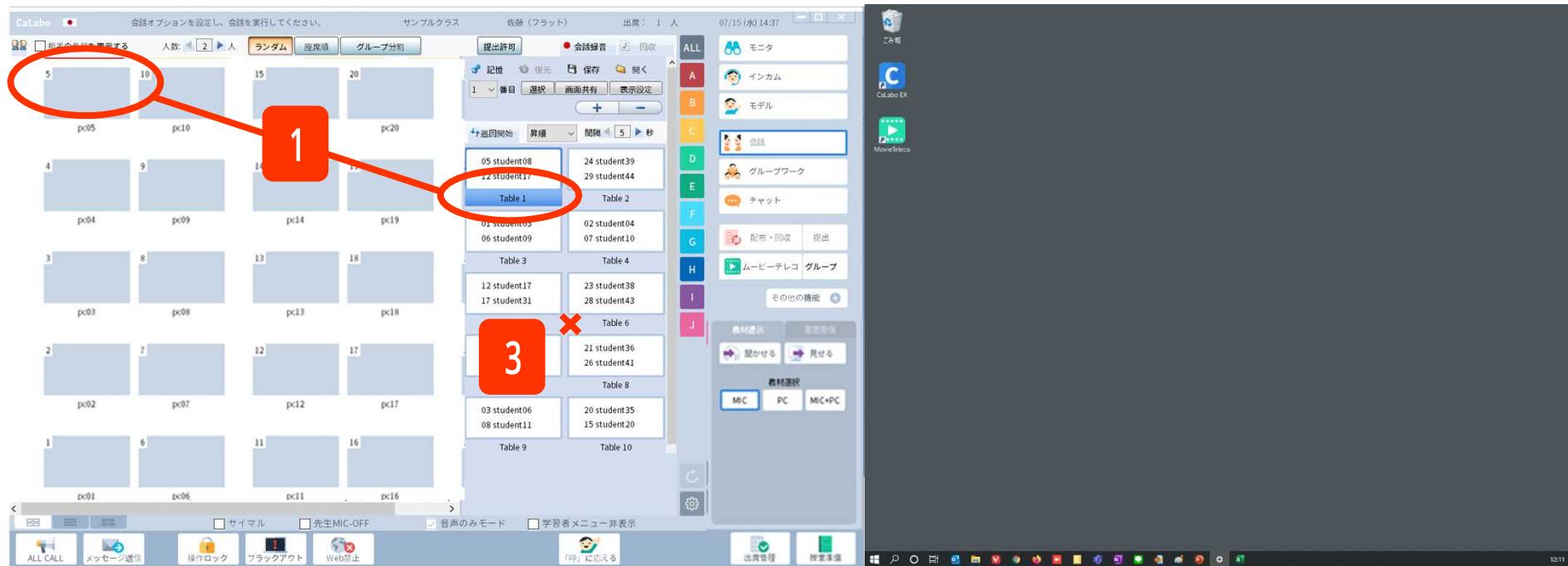


録音音声が保存されます。

### 4. [提出]ボタンをクリック



# 会話のモニタ(モニタ解除 / インカム / モデル)



## [会話のモニタ, モニタ解除]

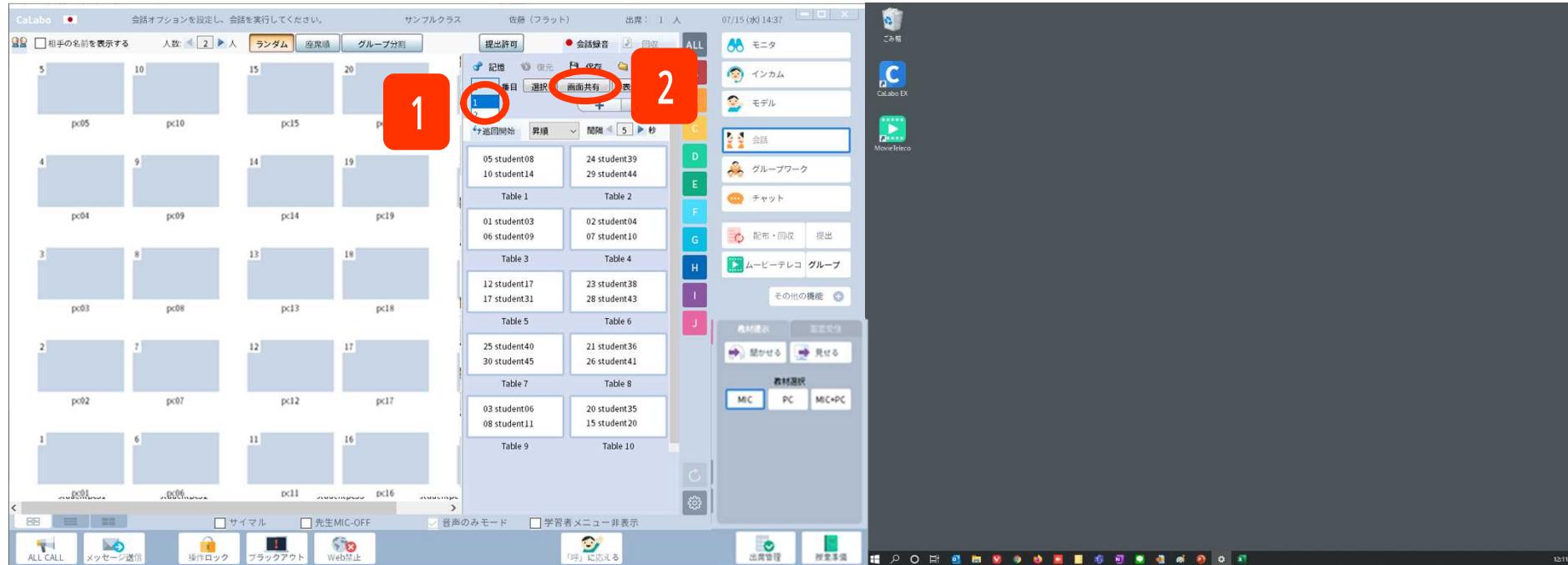
1. [会話]実行中、Table番号 または 座席アイコンをクリック  
[モニタ]ボタンがONになり、対象学習者の会話音声をモニタできます。
2. 対象を切り替えるには、  
他の Table番号 または 座席アイコンをクリック  
モニタ対象が切りわります。
3. モニタを解除するには、Tableエリアのグレー色部分をクリック

## [会話中のインカム, モデル]

会話中、「インカム」(会話に介入する)、  
「モデル」(会話を全員に聞かせる)を実行するには、  
左の手順1.で対象ペアをモニタし、さらに  
[インカム]または[モデル]を実行します。

# 画面共有

ペア会話実行中、一方の画面を共有し、その画面を参照しながら会話することができます。3人以上のグループの場合も同様です。



1. [会話]実行中、プルダウンリストで「1番目」を選択  
(会話Tableで上段に表示されている学習者が対象になる)
2. [画面共有]ボタンをクリック  
会話Tableで上段に表示されている学習者のPC画面が  
他方に表示されます。

## 学習者の操作

画面共有先の学習者画面には右のボタンが  
表示され、ONにすると共有元の画面を操作  
できます。

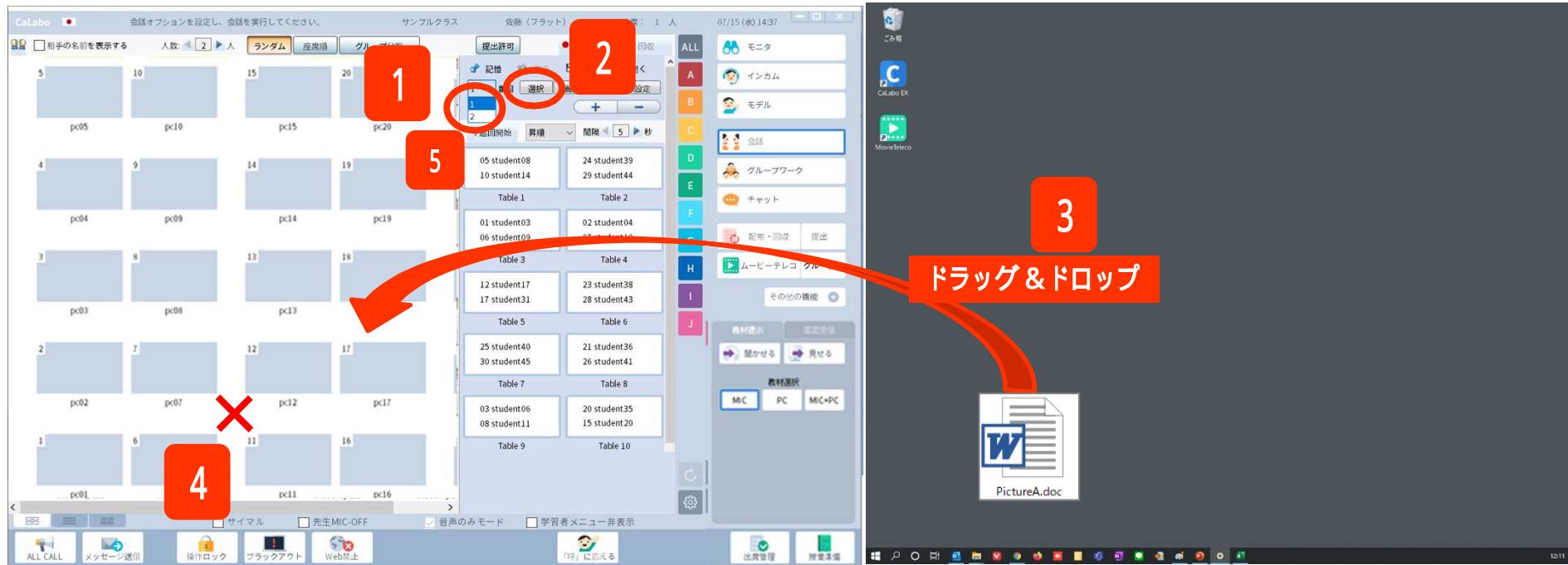


- 【画面共有元を交替するには…】
3. [画面共有]ボタンをクリックし、共有をいったん解除
  4. プルダウンリストで「2番目」を選択  
(会話Tableで下段に表示されている学習者が対象になる)
  5. [画面共有]ボタンをクリック  
会話Tableで下段に表示されている学習者のPC画面が  
他方に表示されます。

共有元で開いているWord文書に書き込んだりすることができます。

# インフォメーションギャップ

ペア会話実行中、別々のファイル(Part A用, Part B用等)を配布し、インフォメーションギャップ活動を円滑に実施します。



まず、Part A側を選択し、ファイルを配布します。

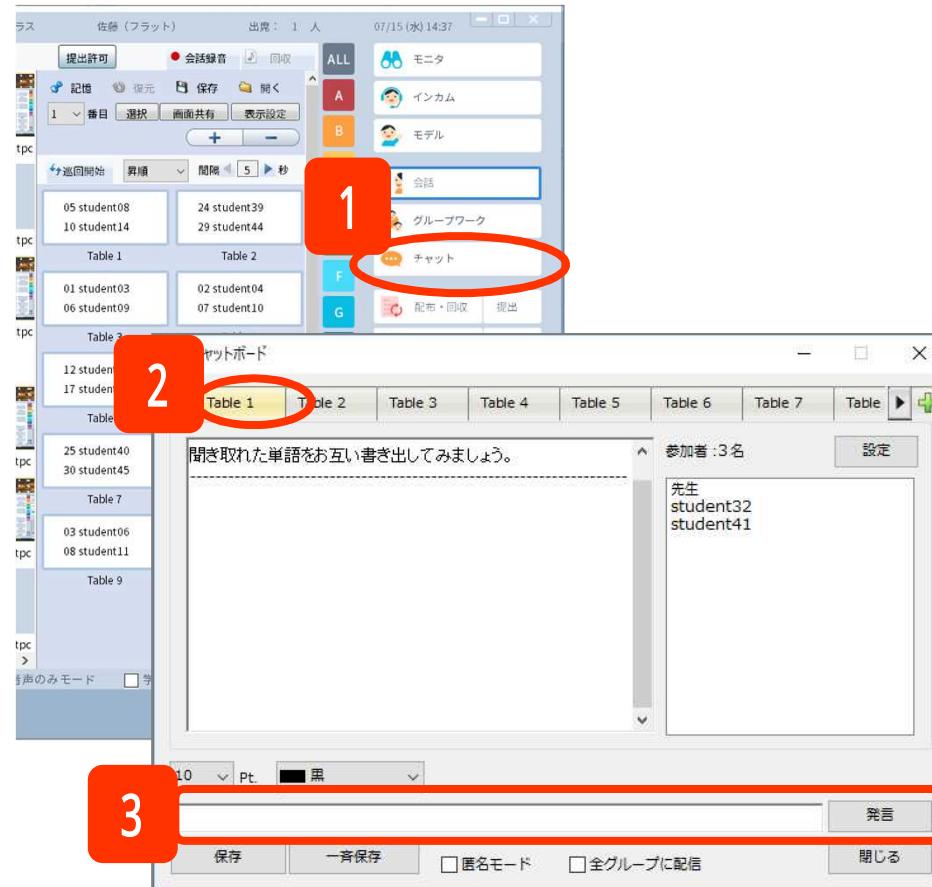
1. [会話]実行中、プルダウンリストで「1番目」を選択  
(会話Tableで上段に表示されている学習者が対象になる)
2. [選択]ボタンをクリック  
会話Tableで上段に表示されている学習者の座席アイコンが選択状態になります。
3. 1つ目のファイルをクラスエリアにドラッグ & ドロップ  
配布先を確認し、ファイル配布を実行します。

いったん、座席の選択状態を解除した後、Part B側を選択し、ファイルを配布します。

4. クラスエリアの空白部分をクリックし、選択状態を解除  
選択状態の座席が解除されます。
5. プルダウンリストで「2番目」を選択  
(会話Tableで下段に表示されている学習者が対象になる)
6. 手順2, 3と同様の手順で2つ目のファイルを配布

# 会話時のチャット

会話実行中、ペア(またはグループ)単位にチャットボードを起動し、文字のやりとりをさせます。

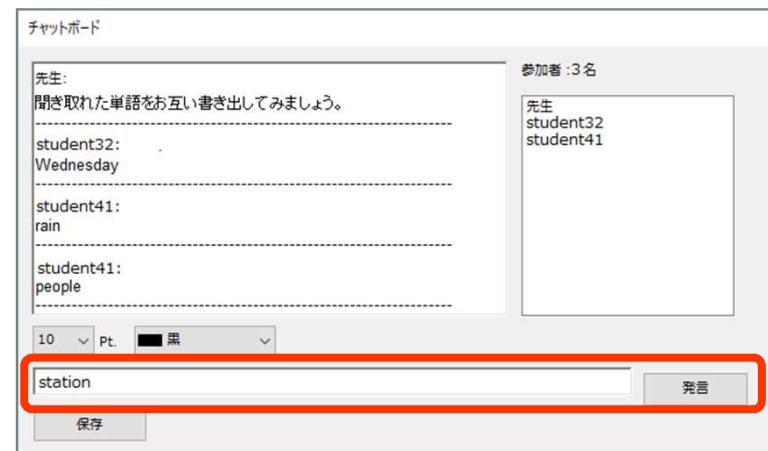


- 匿名モード** : 学習者のチャットボードには発言者名を表示しない  
(先生には表示される)
- 全グループに配信** : 全Tableに先生のコメントを送る
- [保存]** : 選択したTableまたは全Tableのチャット内容をファイルに保存
- [一斉保存]** : 先生の操作で、学習者側にチャット内容を一斉に保存

1. 会話実行中、[チャット]ボタンをクリック  
先生画面と学習者画面にチャットボードが表示されます。
2. 対象Tableをクリック  
対象学習者のやりとりが表示されます。
3. コメントを入力し[発言]ボタンをクリック  
選択しているTableの学習者にコメントが送られます。

## 学習者の操作

コメントを入力して[発言]ボタンをクリック  
チャットボードに書き込まれます。



# ムービーテレコの概要

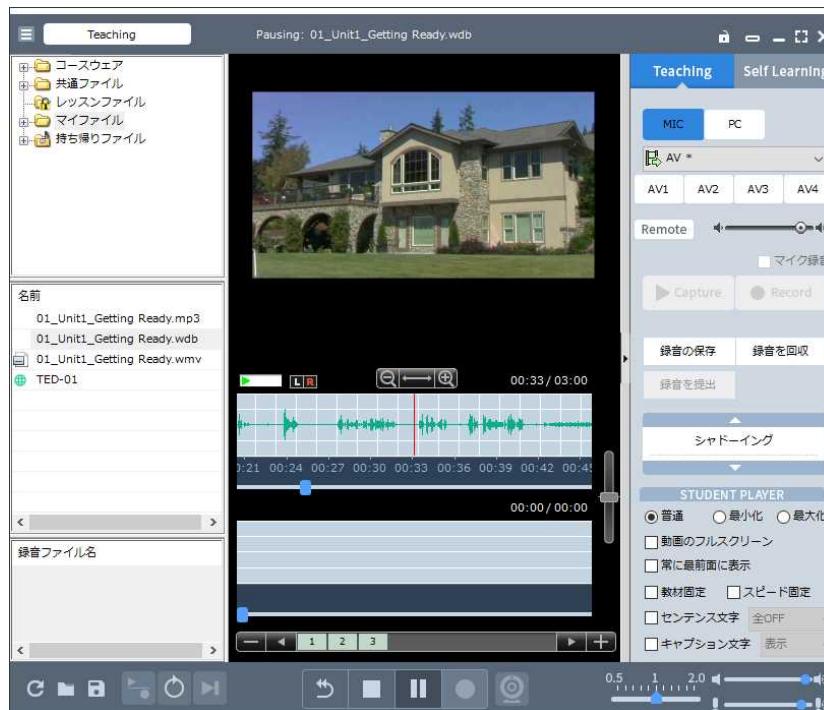
ムービーテレコ

動画 / 音声ファイルを読み込み、シャドーイングや通訳練習をすることができます。

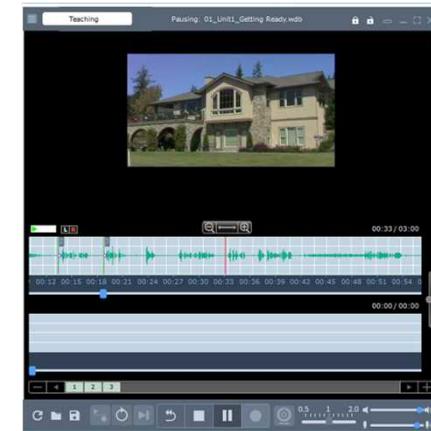
先生の制御で一斉に実行するか、学習者自身が操作して個々のペースで学習するかを選択できます。

また、外部接続したAV機器の映像・音声を取り込み、教材にすることもできます。

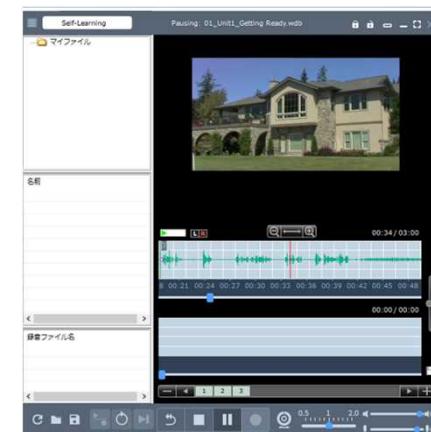
【先生画面】



【学習者画面】



【Teaching画面】



【Self-Learning画面】

# ムービーテレコの画面と機能

ムービーテレコ



画面のクリア

現在開いている教材音声や録音音声をクリアします



ファイルを保存

現在開いている教材音声や録音音声を指定して保存することができます



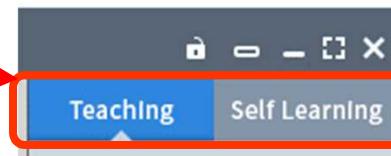
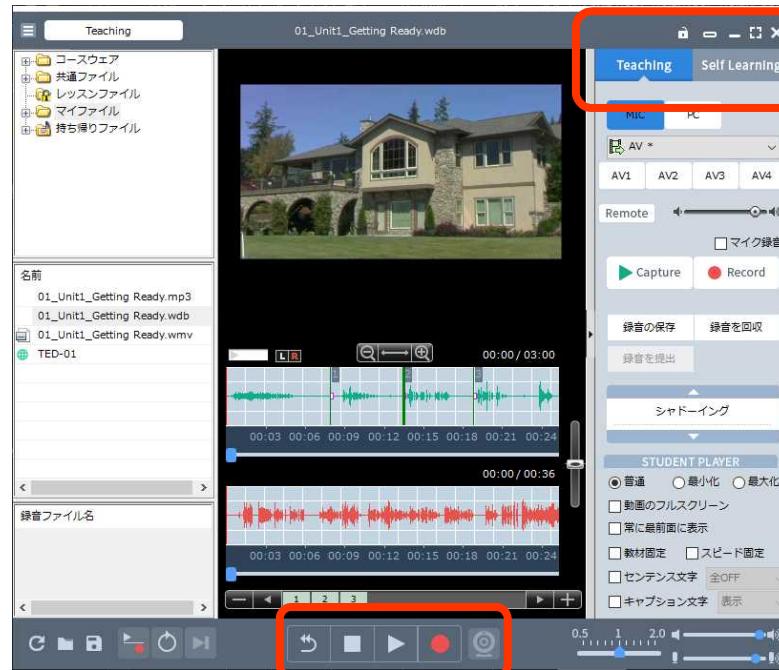
録音一時保存

録音を「テンポラリ録音リスト」に保存します。(学習者のみ)

# TeachingモードとSelf Learningモード

ムービーテレコ

ムービーテレコには先生がコントロールして一斉に学習するTeachingモードと、  
学習者にファイルを教材を配布して個別学習させるSelf Learningモードの2つの使い方があります。  
(Teachingモードのムービーテレコでは、学習者は再生や停止などの操作はできません。)



「Teaching(一斉学習)」と「Self Learning(個別学習)」を  
タブのクリックで切り替えます。  
選択されているほうが「青色」

## Teachingモードで使用する例

- ・先生の操作でクラス全員で音声を聞く・動画を見る
- ・先生の操作で学生全員の声を一斉録音し、音声を回収する

## SelfLearningモードで使用する例

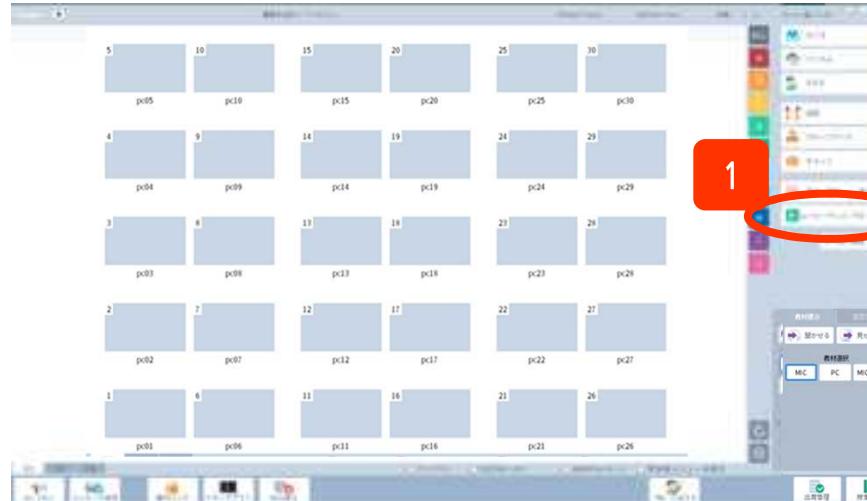
- ・学習者に教材を配布、各自のペースで音声を聞く・動画を見る
- ・学習者各自で自分の声を録音する。

Teachingモードのとき、先生の再生／録音／停止の操作に学習者ムービーテレコが連動して動作します。

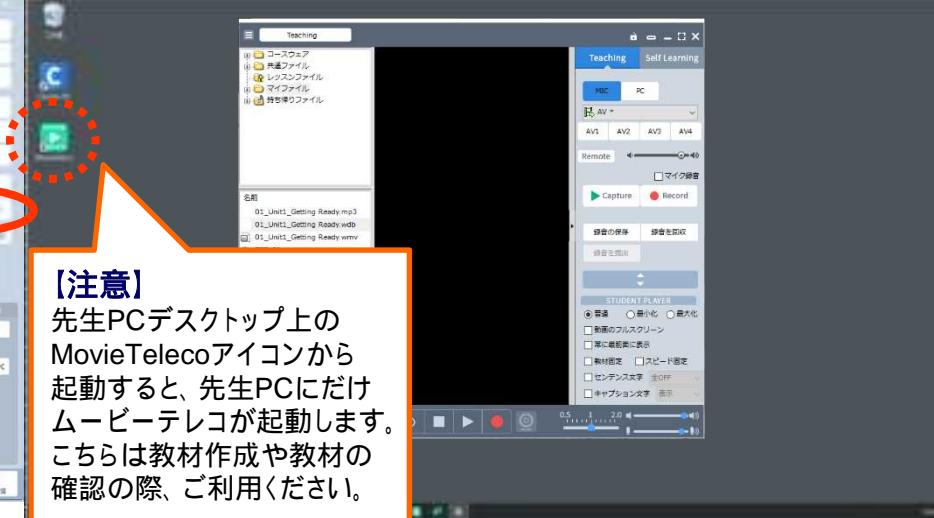
# ムービーテレコの起動と終了

ムービーテレコ

【コントロール画面】



【先生PC画面】



## 【注意】

先生PCデスクトップ上のMovieTelecoアイコンから起動すると、先生PCにだけムービーテレコが起動します。こちらは教材作成や教材の確認の際、ご利用ください。

## 起動

1. コントローラ画面の「ムービーテレコ」ボタンをクリック

先生PCとログインしている全ての学習者PCにムービーテレコが起動します。

## 終了

1. コントローラ画面の[ムービーテレコ]ボタンをクリック
2. 「学習者のムービーテレコを終了しますか？」で「はい」をクリック

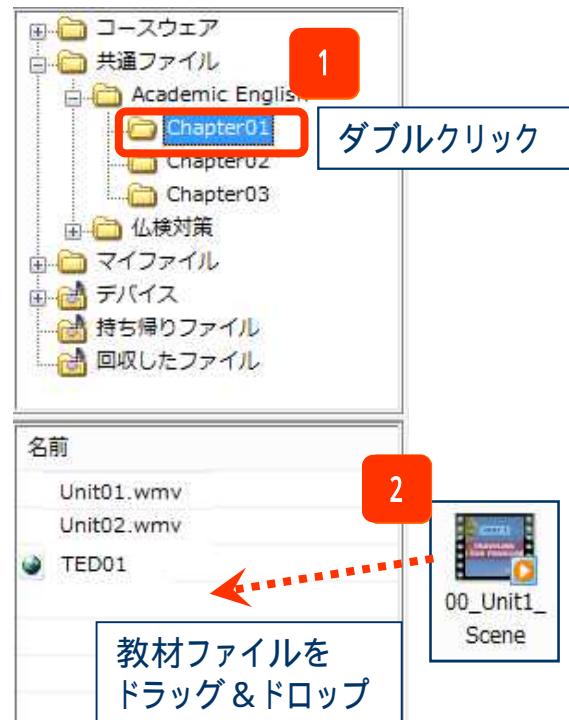


先生PCと学習者PCの全てのムービーテレコが終了します。  
「いいえ」を選択した場合、先生のムービーテレコだけが終了し、学習者のムービーテレコは終了しません。

# ムービーテレコのサーバに教材を登録する ムービーテレコ

ムービーテレコ教材サーバがある場合、動画ファイルや音声ファイルを教材サーバに登録して利用することができます。(学習者は登録できません。)

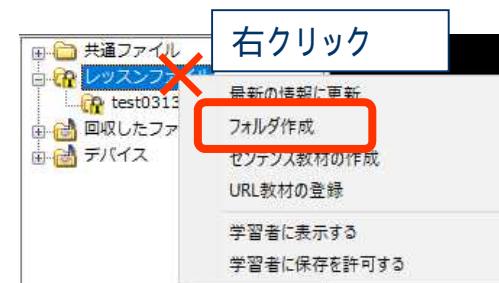
教材サーバの運用ルールは学校の管理者にご確認ください。



1. 「共通ファイル」または「レッスンファイル」のサブフォルダをダブルクリック  
「教材リスト」にサブフォルダ内の教材が表示されます。
2. 「教材リスト」に、登録したい教材ファイルをドラッグ & ドロップ  
サーバに教材が登録されます。

## 【サブフォルダの作成】

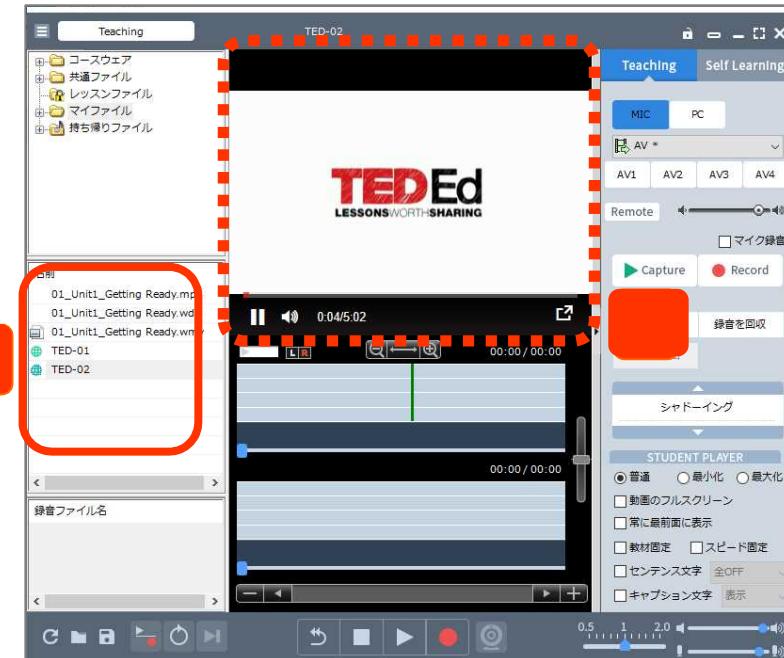
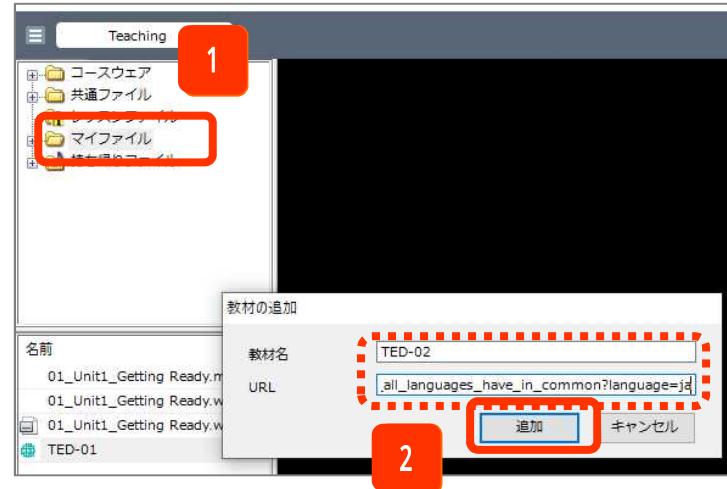
「共通ファイル」または「レッスンファイル」には、サブフォルダを作成することができます。  
(フォルダ上で右クリック)



# YouTube・TEDの動画を登録する

ムービーテレコ

動画サイトのURLを登録し、教材として参照することができます。



1. 教材を追加したいフォルダを右クリックして表示されるメニューから「教材の追加」をクリック  
「教材の追加」パネルが表示されます。
2. 「教材名」と「動画のURL」を入力し、[追加]ボタンをクリック  
指定したフォルダにURL教材が登録されます。
3. 追加されたURL教材をダブルクリック  
ムービーテレコ動画画面にURLを入力した動画が表示されます。

動画サイト教材は、Teachingモードで一斉に再生することはできません。  
動作サイトの再生は、ムービーテレコの再生ボタンではなく、動画サイト内の再生ツールで再生します。

# 「レッスンファイル」フォルダの利用

ムービーテレコ

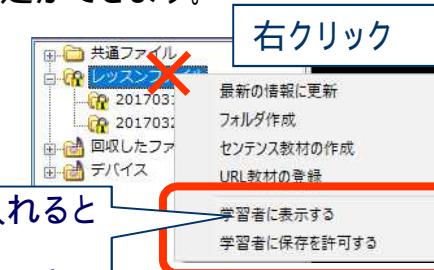
「レッスンファイル」フォルダは、授業中のみ(先生がCaLabo EX コントローラを起動している間のみ)表示されるフォルダです。「レッスンファイル」内のサブフォルダに対して、次の設定ができます。  
(フォルダ上で右クリック)

学習者にサブフォルダを 表示する / 表示しない

サブフォルダ内の教材保存を 学習者に許可する / 保存許可しない

サブフォルダの設定を変更する場合、

上位のフォルダから設定する必要があります。



例) 「レッスンファイル」→「20170327」フォルダの設定

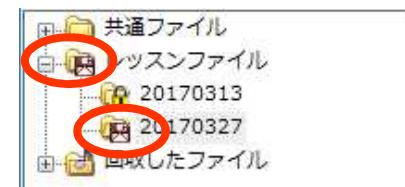
## 【先生の設定】

学習者に表示する  
学習者に保存を許可す  
る

## 【先生の表示】



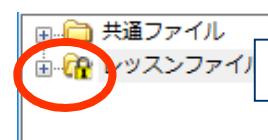
学習者に表示する  
学習者に保存を許可す  
る



学習者に表示する  
学習者に保存を許可す  
る



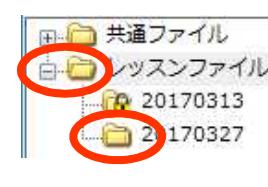
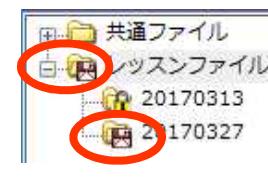
## 【学習者の表示】



「レッスンファイル」をダブルクリックしても開けない

「20170327」内の教材は 参照可 / 保存不可  
それ以外のサブフォルダはダブルクリックして  
も開けない

《注意》 「レッスンファイル」直下のファイルは  
参照可 / 保存不可 になっている



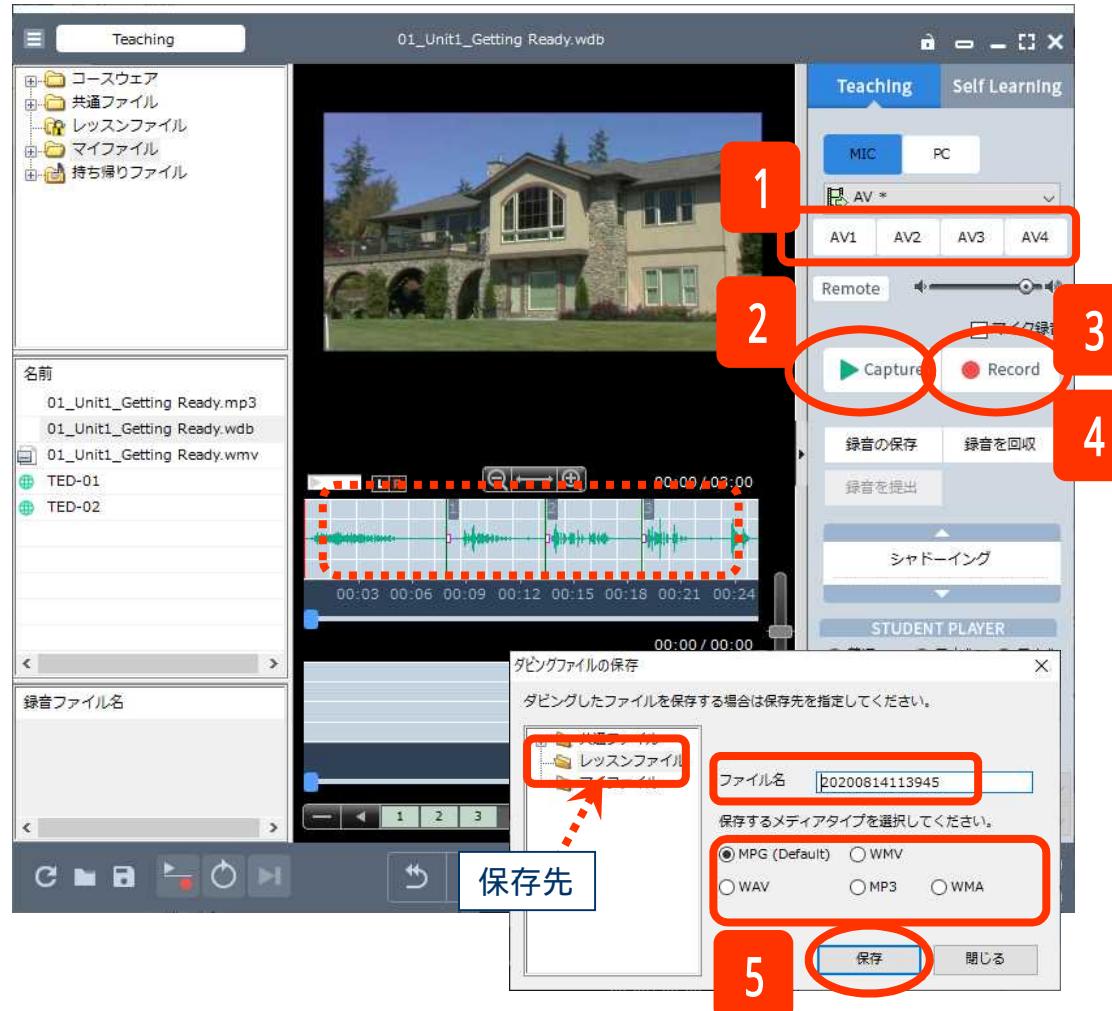
「20170327」内の教材は参照可 / 保存可  
それ以外のサブフォルダはダブルクリックして  
も開けない

《注意》 「レッスンファイル」直下のファイルは  
参照可 / 保存可 になっている

# AV機器の映像・音声を取り込む

## ムービーテレコ

DVD / CDなどの映像や音声をその場で取り込んでファイル化します。



1. AV機器を選択

2. [Capture]ボタンをクリック

AV機器の映像がムービーテレコに表示され、音声がヘッドセットから聞こえます。

3. [Record]ボタンをクリック

録画・録音を開始し、波形が表示されます。

4. [Record]ボタンを再度クリック

録画・録音を停止し、「ダビングファイルの保存」ダイアログが表示されます。  
AV機器は別途停止させます。

5. 保存先、ファイル名、ファイル形式を指定して  
[保存]ボタンをクリック

取り込んだ教材が保存されます。  
ファイル形式は一般的に下記を選びます。

・動画の場合 = WMV

・音声の場合 = MP3

保存する必要がない場合、[保存]ではなく[閉じる]ボタンをクリックします。

# Teachingモードで教材を見せる・聞かせる ムービーテレコ

動画ファイルや音声ファイルを学習者ムービーテレコに配信して見せます。(学習者は操作できません。)



1. 教材ファイルをムービーテレコにドラッグ&ドロップ  
または教材フォルダを選択、教材リストで教材  
をダブルクリック

ムービーテレコに教材ファイルが読み込まれ  
動画や音声の波形が表示されます

<読み込み可能なファイル形式>

動画ファイル:MPEG1,WMV,AVI,  
MP4,MOV,M4V

音声ファイル:WAV,MP3,WMA,M4A

2. [再生ボタン]をクリック

読み込まれた教材ファイルの動画や音声が  
先生と学習者に流れます。

【ムービーテレコのコントロール】



教材の2秒巻き戻し

再生中にクリックすると教材を2秒戻す

停止

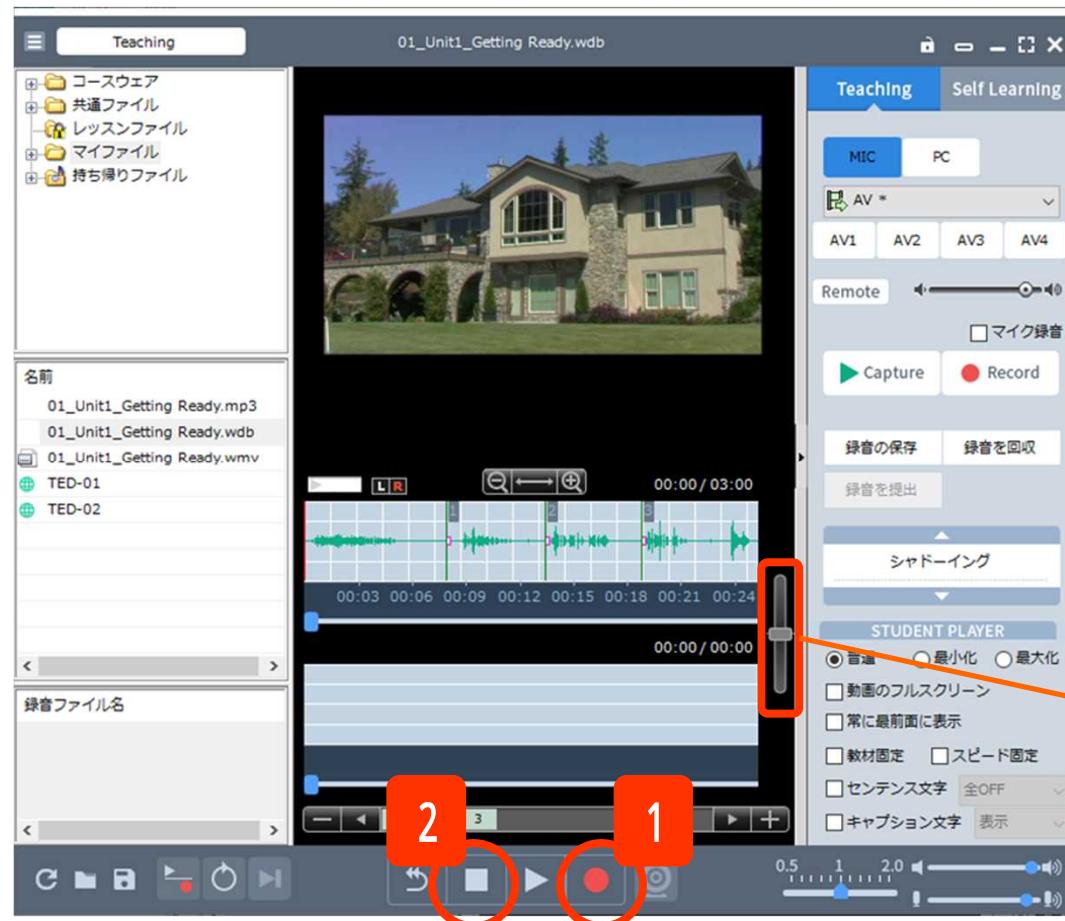
再生

録音

教材を再生しながら学生の声を録音

# Teachingモードでシャドーイング / 同時通訳 ムービーテレコ

ファイル化した教材を使い、先生のコントロールで学習者にシャドーイングや同時通訳練習させます。  
学習者の音声は自動で録音されます。(学習者は操作できず、先生から一括制御します。)



## 1. 教材を開いた状態で[録音]をクリック

教材を再生し、同時に学習者のマイク音声を録音します。

教材は、次のいずれかで開きます。

- ・AV機器の映像・音声を取り込む
- ・教材フォルダを選択、教材リストで教材をダブルクリック
- ・USBメモリ等で持ってきた教材ファイルをムービーテレコにドラッグ & ドロップ

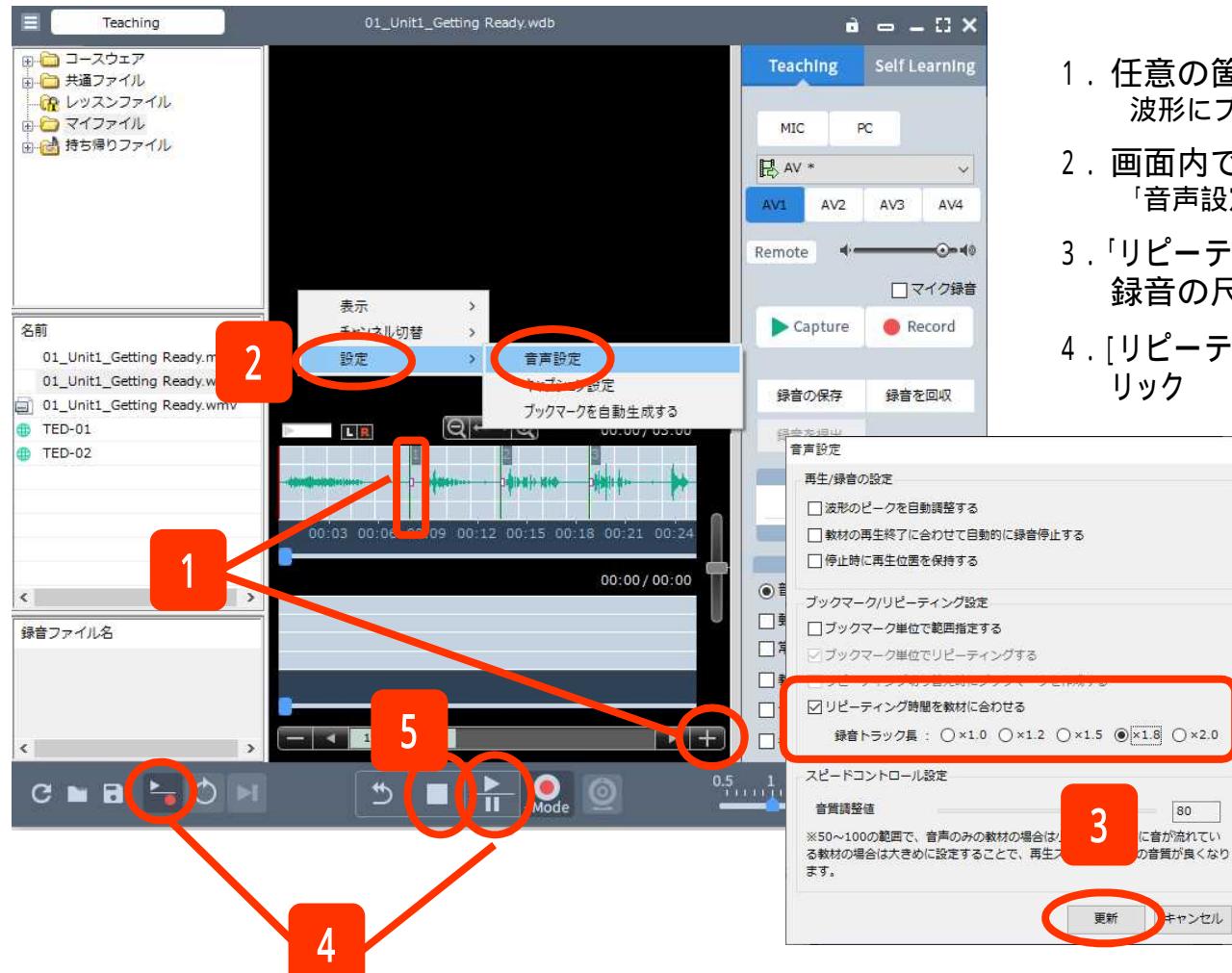
## 2. [停止]をクリックして終了

[再生]をクリックして録音音声を聞かせることができます。  
学習者は、バランスつまみを上下に動かし、教材と録音音声の音量を調整することができます。(バランスつまみは、先生ムービーテレコと同じ位置にあります。)

バランスつまみ

# Teachingモードでリピーティング / 逐次通訳 ムービーテレコ

ファイル化した教材を使い、先生のコントロールで学習者にリピーティングや逐次通訳練習させます。  
学習者の音声は自動で録音されます。(学習者は操作できず、先生から一括制御します。)



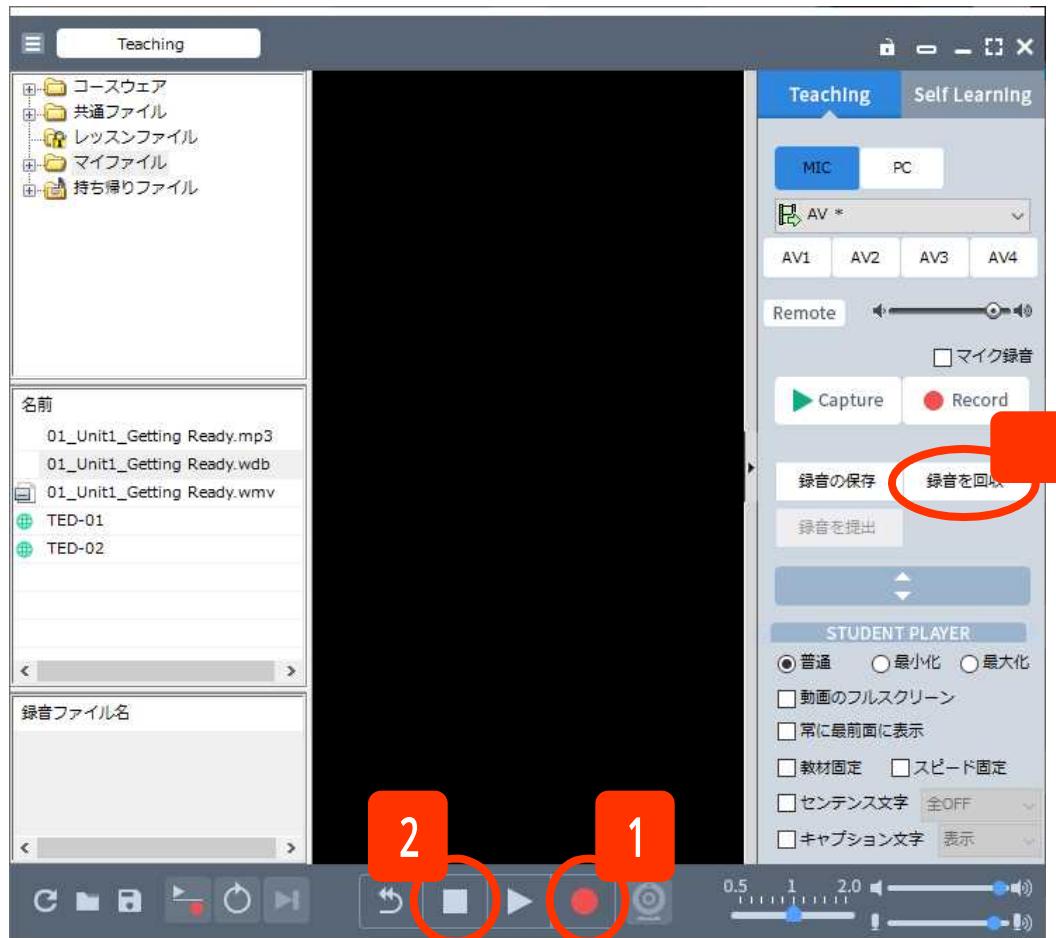
- 任意の箇所をクリック、[+]をクリック  
波形にブックマークが作られます。
- 画面内で右クリック、「設定」→「音声設定」を選択  
「音声設定」ダイアログが表示されます。
- 「リピーティング時間を教材に合わせる」にチェック、  
録音の尺を選択、[更新]をクリック
- [リピーティング]ボタンを押下、[再生]ボタンをク  
リック

ブックマーク位置まで再生、指定した  
尺で録音、次のブックマーク位置まで  
再生、指定した尺で録音…を  
繰り返します。

- [停止]をクリックして終了

# Teachingモードで読み上げ音声を録音 ムービーテレコ

先生のコントロールで、学習者の読み上げ音声を一斉に録音します。  
録音後に一括回収することもできます。



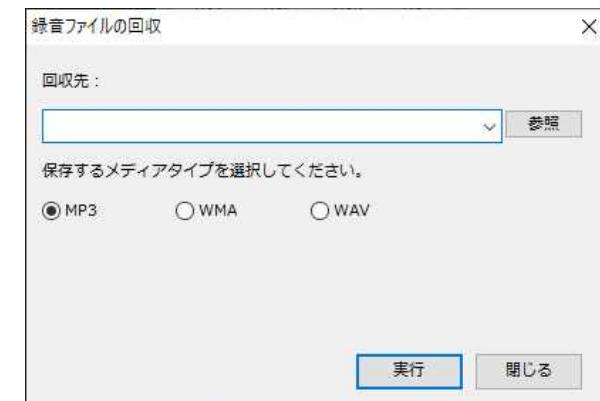
## 1. 教材を開かない状態で[録音]をクリック

学習者のマイク音声録音を開始します。

録音を開始すると[再生]ボタンは[一時停止]ボタンに変わります。[一時停止]ボタンをクリックして録音を一時停止することができます。

## 2. [停止]をクリックして終了

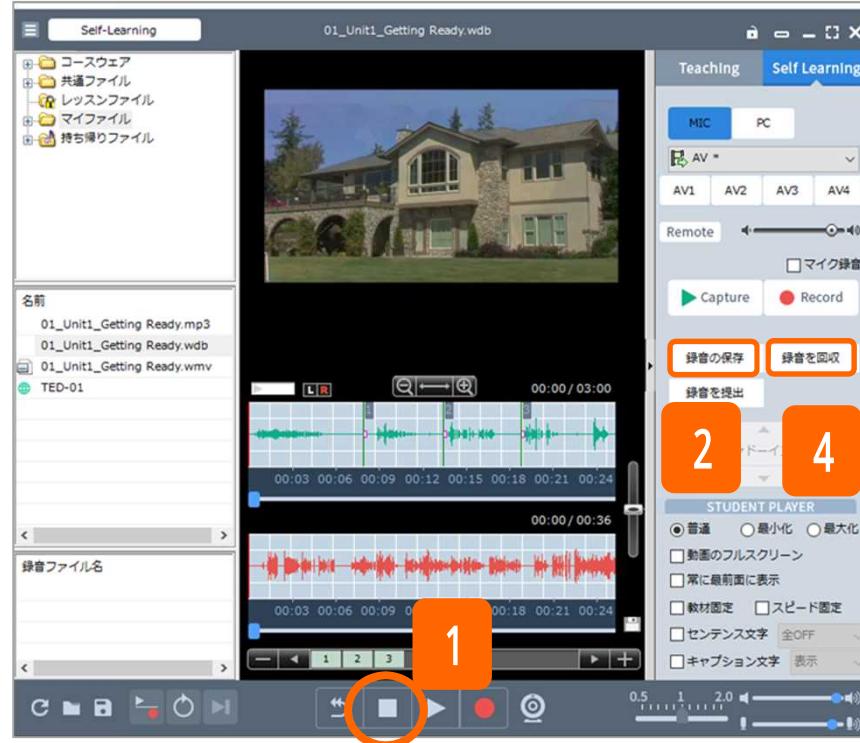
[録音を回収]ボタンをクリックすると、学習者の録音音声を一括回収できます。



# 録音音声の回収・保存

## ムービーテレコ

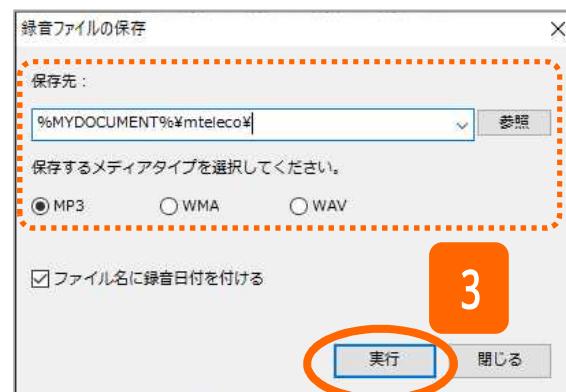
先生のコントロールで学習者の音声を一斉に録音し、学習者PCに録音音声の保存、または先生PCに学習者の録音音声を回収します。(学習者は操作できず、先生から一括制御します。)



録音を回収する前に、録音の保存をする必要はありません。

1. Teachingモードで一斉録音後、[停止]をクリック  
録音が停止されます。
2. 学習者PCに録音音声を保存する場合、[録音の保存]ボタンをクリック  
「録音ファイルの保存」ウインドウが表示されます。
3. 保存先、ファイル形式を指定して[実行]ボタンをクリック  
指定した場所に録音ファイルが保存されます。  
学習者PCにそれぞれの録音音声が保存されます。
4. 録音音声を回収する場合、[録音を回収]ボタンをクリック  
「録音ファイルの回収」ウインドウが表示されます。
5. 回収先、ファイル形式を指定して[保存]ボタンをクリック  
指定した場所に録音ファイルが回収されます。

【録音ファイルの保存】



【録音ファイルの回収】



# ムービーテレコ : Self-Learningモード ムービーテレコ

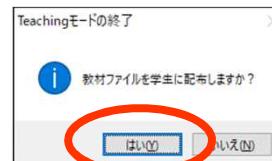
映像や音声の教材を使い、学習者の操作で個別に練習させる  
先生が取り込んだ映像・音声や、自分で開いた教材を使って、学習者が各自操作して学習します。

先生が取り込んだ教材を学習者に使わせるには…

AV機器からの映像・音声を録画・録音後、教材波形が表示されている状態で、[ Self Learning ]ボタンを押します。

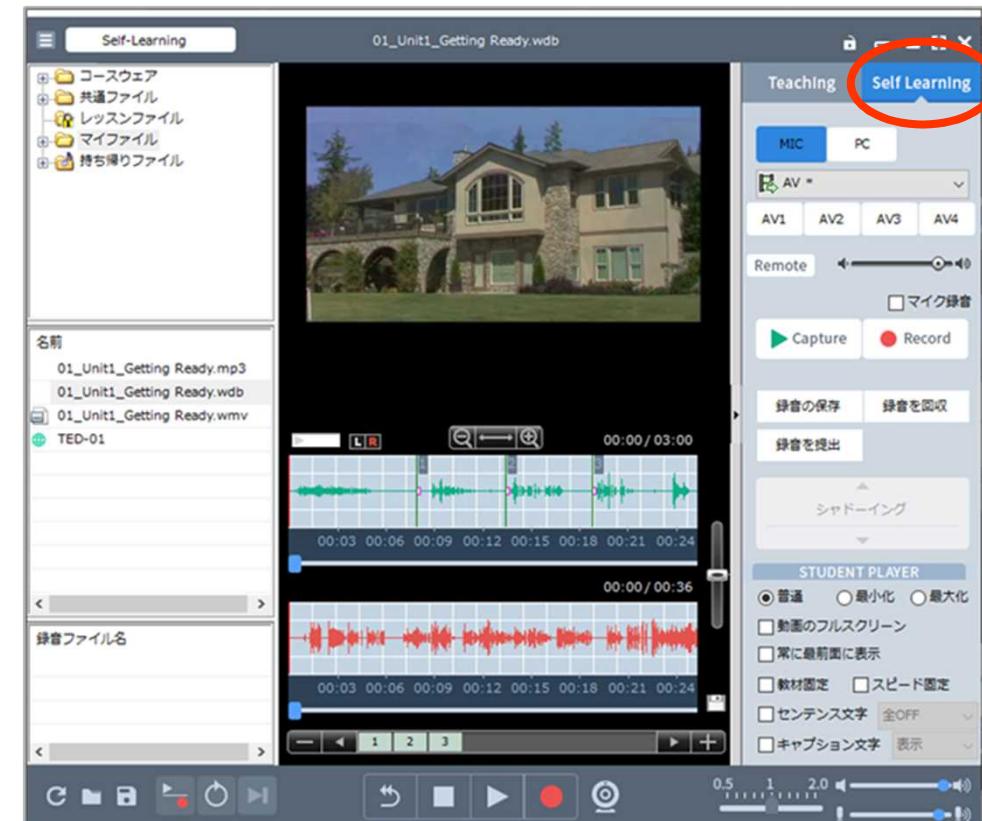
→ 教材サーバが設定されている環境では、「レッスンファイルに登録しますか？」という確認メッセージが表示されるので、[はい]をクリックします。  
教材サーバに登録され、学習者PCではその教材が自動で開かれます。  
ファイル名は自由に変更できますが、拡張子は変更しないでください。

→ 教材サーバが設定されていない環境では「教材ファイルを学生に配布しますか？」という確認メッセージが表示されるので、[はい]をクリックします。  
学習者PCに教材がコピーされます。



教材サーバに登録した教材を使わせるには…

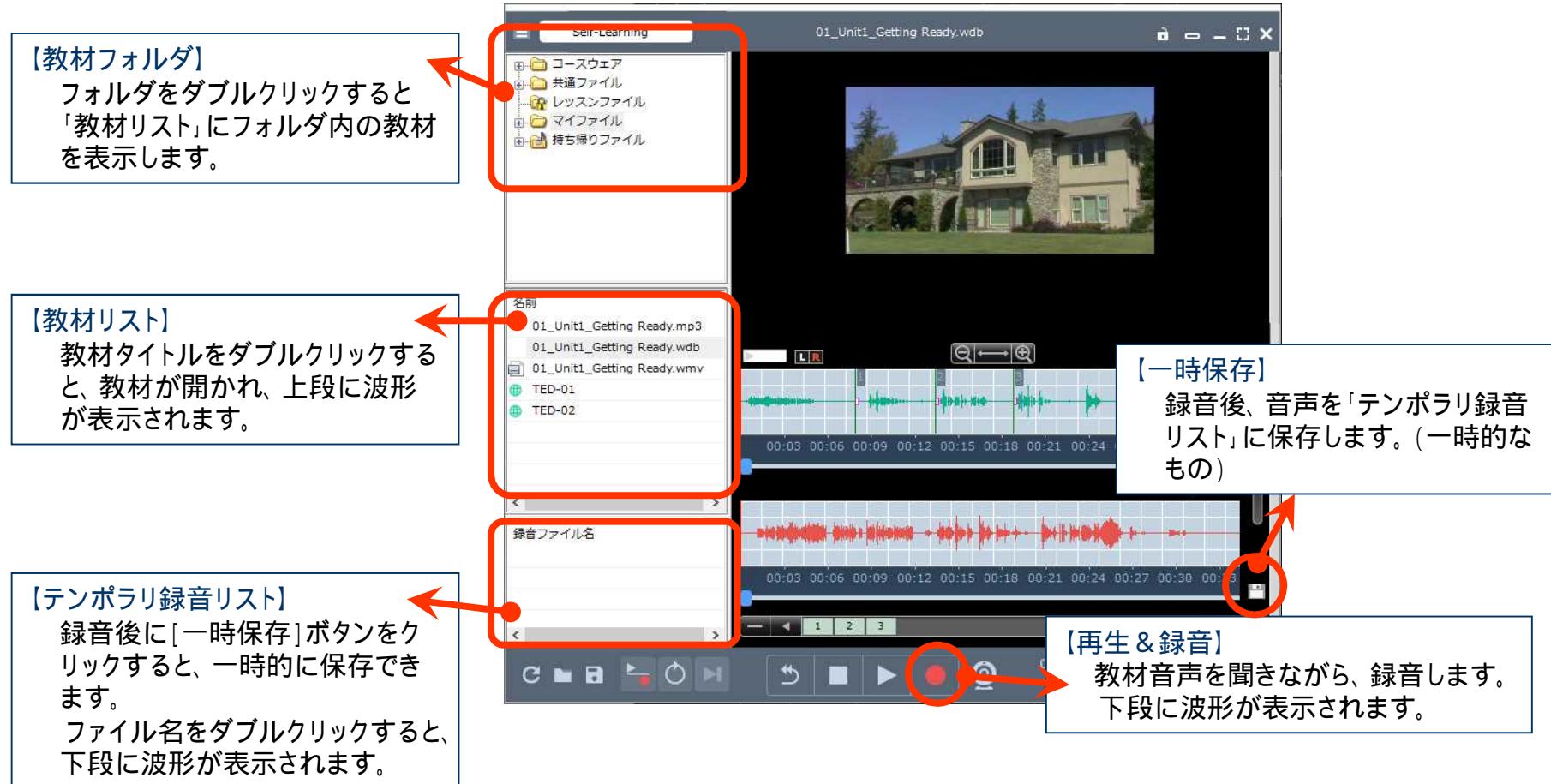
[ Self Learning ]ボタンを押します。  
→ 学習者は指示された教材を「教材フォルダ」から開きます。



# ムービーテレコの使い方(画面の説明)

学習者

学習者は各自が操作して教材を学習できます。

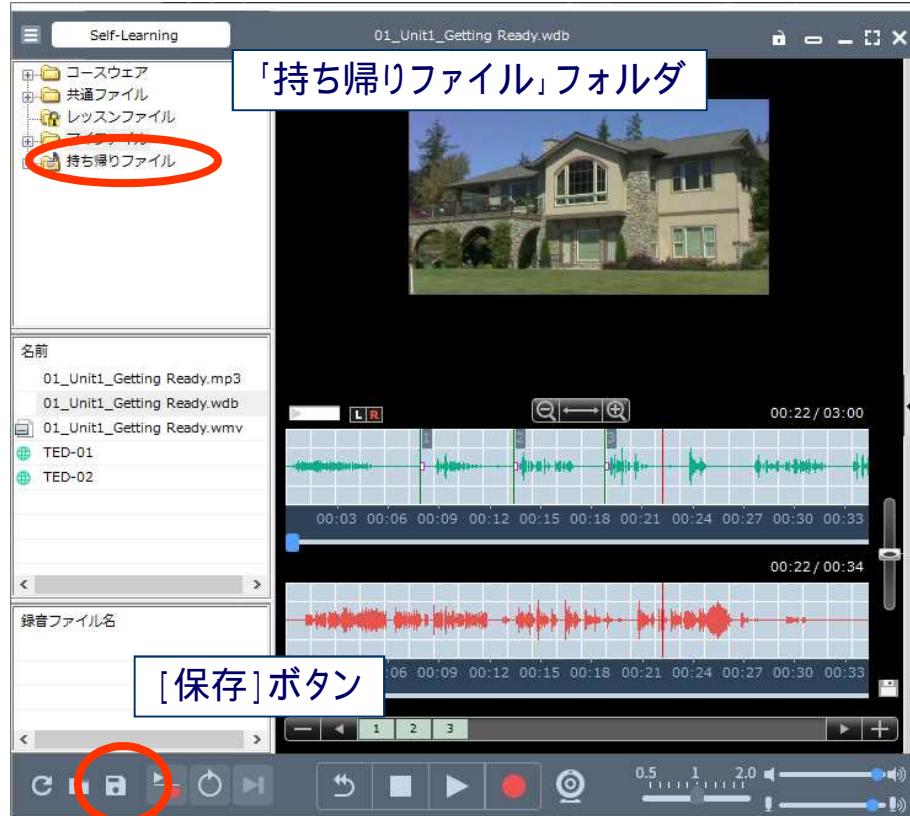




# ムービーテレコの使い方

## (教材・録音した音声を保存する)

学習者



教材・録音した音声をファイルに保存します。

[保存]ボタンをクリックします。

「名前をつけて保存」ダイアログが表示されます。

1

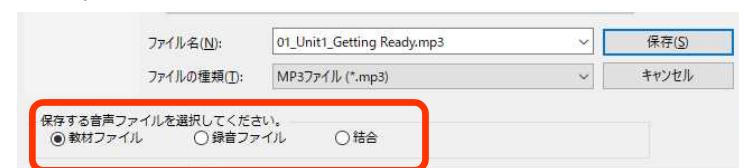
「ファイルの種類」を選択します。

保存できるファイルの形式は5種類(wdb, wav, mp3, wma, wmv)です。

wdbはムービーテレコ独自の形式、wav,mp3,wmaは音声ファイル形式、wmvは動画ファイル形式です。

2

音声ファイルの保存('wav','mp3','wma')を選択した場合、「教材ファイル」「録音ファイル」「結合(教材音声と録音音声のミックス)」の3つから保存する音声を選びます。



3

保存先のフォルダとファイル名を指定して保存します。  
指定先に保存されます。

4

「持ち帰りフォルダ」に教材をドラッグ＆ドロップすると、持ち帰り用ムービーテレコといっしょに保存されます。

# 学習者メニュー

学習者

学習者PCには「学習者メニュー」がインストールされています。



## [ムービーテレコ]

ムービーテレコを起動します。

## [ファイル提出]

「ファイル提出」ダイアログを閉じてしまった場合、クリックして表示させることができます。(先生が提出許可中のみ有効)

## [デスクトップ録画]

先生が「デスクトップ録画」したファイルを配信した場合、再生することができます。(先生は配信した場合のみ有効)

## [先生呼出]

質問があるときなど、先生に知らせることができます。クリックすると「先生呼出」ダイアログが表示されるので、必要であればメッセージを入力し、先生に知らせます。メッセージは入力しなくてもかまいません。



[Alt] + [F12]キーを押した場合は、先生呼出ダイアログは表示せず、呼び出していることだけを先生に知らせます。

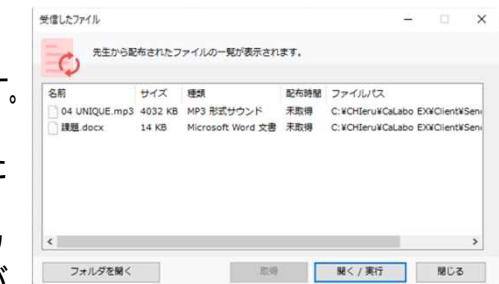
## [出席]

「出席票」を表示します。座席アイコンに「入力した名前」を表示する設定の場合、名前を入力します。



## [受信ファイル]

先生から配布されたファイルを確認できます。出席する前に先生がファイルを配布していた場合、自動で表示され、[再取得]ボタンをクリックすると取得することができます。



# チエルお問い合わせ先

お電話は、土日祝・弊社指定休日を除く午前10:00～午後5:00まで受け付けております

## 資料請求・お問い合わせ 導入をご検討中のお客様

どんなご要望でもお気軽にお問い合わせください。

📞 **03-6712-9721**

📠 03-6712-9461

✉️ [chieru-sales@chieru.co.jp](mailto:chieru-sales@chieru.co.jp)

お問い合わせフォームもご用意しています。

🔍 [www.chieru.co.jp/mailform/inquiry/](http://www.chieru.co.jp/mailform/inquiry/)

問い合わせフォーム



## お客様サポート 製品をご利用いただいているお客様

製品についてご不明な点がございましたら、最初に「CHieru 製品サポート」をご参照ください。

🔍 [support.chieru.net](http://support.chieru.net)

問題が解決できない場合、下記の方法でお問い合わせください。

📞 **03-5781-8110**

CHieru 製品サポートサイト

📠 03-6712-9461



✉️ [support@chieru.co.jp](mailto:support@chieru.co.jp)

## 本社・営業所・チエルホームページ

### 本社

〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー3F  
TEL:03-6712-9721 FAX:03-6712-9461

### 首都圏営業所

〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー3F  
TEL:03-6712-9471 FAX:03-6712-9461

### 札幌営業所

〒060-0062 北海道札幌市中央区南2条西9丁目1-2 サンケン札幌ビル6F  
TEL:011-804-7170 FAX:011-804-7171

### 仙台営業所

〒980-0013 宮城県仙台市青葉区大町1-4-1 明治安田生命仙台ビル 3F  
TEL:022-217-2888 FAX:022-206-5222

### 名古屋営業所

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1丁目18番11号 CK21広小路伏見ビル 3F  
TEL:052-857-0082 FAX:052-857-0083

### 大阪営業所

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島7-1-29 新大阪SONEビル5F  
TEL:06-6838-3077 FAX:06-4806-7056

### 広島営業所

〒732-0828 広島県広島市南区京橋町1-7 アスティ広島京橋ビルディング2F  
TEL:082-236-6077 FAX:082-236-6078

### 福岡営業所

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2-4-17 第6岡部ビル5F  
TEL:092-483-1603 FAX:092-483-1604

### 沖縄営業所

〒901-2127 沖縄県浦添市屋富祖1-6-3 森ビル  
TEL:098-943-0511 FAX:098-943-0669

チエルホームページ

チエルホームページ [www.chieru.co.jp](http://www.chieru.co.jp)



記載されている会社名および商品名は各社の商標もしくは登録商標です。 記載の仕様などは予告なく変更になる場合があります。 予めご了承ください。